

特 100
558



始



特

蠶絲業法規

其他

特106
558

蠶絲業法規目次

蠶絲業法	一
蠶絲業法施行規則	一
蠶絲業法施行手續	一
蠶絲業法施行心得	一
蠶絲業法施行事務取扱規程	一
營業取締所規程	一
營業取締所處務規程	一
營業取締所處務細則	一
改正蠶絲業法實施ノ件	一
蠶種檢查手數料徵收規則	一

大正
7. 8. 6
內交

關係法規

重要物產同業組合法 一

重要物產同業組合法施行規則 二

重要物產同業組合法及取扱手續ニ關スル件 二七

間接國稅犯則者處分法 五三

間接國稅犯則者處分法施行規則 五九

間接國稅犯則者處分法施行細則 六四

間接國稅犯則者處分法施行ニ付心得方ノ件 七〇

法人ニ於テ租稅ニ關シ事犯アリタルトキ處罰制 七二

府縣郡吏員服務紀律 七三

宮城縣職員服務心得 七六

生繭取締規則 八〇

桑園改良増殖獎勵費補助規程 八一

蠶種配付規程 八七

稚蠶共同飼育場獎勵規程 九三

以上

蠶絲業者
本法ニ依ツテ取
締ラル、主ナル
蠶絲關係業者

蠶種製造者
其營業者タルト
否トヲ問ハナイ

蠶病
下文ノ五ツノミ
カ即チ本法ト關
係ヲ有スル
病原ノ殺滅驅除

蠶絲業法

蠶絲業法

明治四十四年三月法律第四十七號
大正六年七月法律第十六號ヲ以テ改正

第一條 本法ニ於テ蠶絲業者ト稱スルハ養蠶、蠶種製造、生絲製造、
真綿製造、殺蛹乾繭又ハ蠶種、繭、生絲、屑物類ノ賣買、仲立若
クハ保管ヲ業トスル者ヲ云フ

第二條 本法ニ於テ蠶種製造者ト稱スルハ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以
テ蠶種ヲ製造スル者ヲ謂フ

第三條 本法ニ於テ蠶病ト稱スルハ微粒子病、軟化病、硬化病、膿
病及蠶蛆病ヲ謂フ

第四條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依
リ病蠶及斃蠶ノ病原微生物並蠶蛆及其ノ蛹蠶ヲ滅殺シ其他蠶病豫

命令、閣令、省令

府縣令等

施設 仕掛ノコト

免許 一般ニハ禁シテ

アルコトヲ其人

ニハ許サレルコ

ト

消毒 蠶室蠶具ニ病原

微生物カ存在シ

アルモノト認メ

テ之ヲ命スル

蠶種製造用繭ノ限

定 原蠶種

モトダネ

建物

防ノ爲必要ナル施設ヲ爲スヘシ

主務大臣ハ學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ對

シ前項ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第五條 蠶種製造者タラムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ

參照 施行規則第六條第七條第九條乃至第十四條第六十四條第六十五條

參照 施行規則第一條乃至第五條

第六條 蠶種蠶造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶室及蠶具ノ消毒ヲ行

フヘシ

參照 施行規則第十五條

第七條 蠶種製造者ハ原蠶種ヨリ產出シタル繭ヲ用ウルニ非サレハ

蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス

第八條 削除

第九條 蠶種製造者ハ現ニ普通蠶種ノ蠶兒ノ掃立又ハ其飼育ヲ爲ス

一ノ建物ソツク

リヲ指ス

普通蠶種

アタリマヘノタ

ネ

(上中下等ノ意)

味テハナイ

室

區劃ニヨツテ定

マル

一。蛾別飼育

蛾區ヲ別々ニ掃

立飼育スルコト

移入

領土内カラハイ

ルコト

移入

外國カラハイ

コト

指定

コレト定ムルコ

ト 框製、袋製

原蠶種ハ此ニ様ニ

建物内ニ於テ蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヨリ蠶種ノ製造ヲ終ル迄ノ作

業ヲ爲スコトヲ得ス

蠶種製造者ハ現ニ普通蠶種製造用蠶兒ノ飼育ヲ爲ス室内ニ於テ原

蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヨリ蠶種ノ製造ヲ終ル迄ノ作業ヲ爲スコトヲ

得ス

第十條 蠶種製造者原蠶種ヲ製造セムトスルキハ蠶兒ノ飼育ハ一蛾

別ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法ヲ施行セサル地若ハ外國ヨリ移入若ク

ハ輸入シタル蠶種ニシテ一蛾別ト爲スコト能ハサルモノ又ハ主務大

臣ノ指定シタル蠶種ニ付テハ此ノ限ニアラス

原蠶種ハ框製又ハ袋製トナスヘシ

參照 施行規則第十六條第三十四條

第十一條 蠶種製造者ハ原蠶種ト爲サムトスル蠶種ニ對シ命令ノ定

原蠶種ノ検査
普通蠶種ノ検査
歩合検査、幾部
抜き検査、幾部
分チ検査シテ全
体ノ合否ヲ決定
スル
再検査
下ノ第三項ノ檢
査ヲ再検査ト謂
ヘル
掃立口
化性、品種、掃
立月日等ニヨッ
テ其口ヲ定メル
指定蠶種
下文ノ如ク二種
アル

合格、不合格蠶種
ノ處理
合格セサル蠶種
有毒蠶種ハ勿論
欠蠶區モ合格シ
タル蠶種テハナ
イ
検査合格證印ナキ
蠶種
証印押捺洩レナ
ドカナイ様注意
セネバナラヌ
錯誤
意志ト事實ノ不
一致
不法
法律命令ニ合ハ
ナイ
蠶種製造ノ一般
的
禁止

ムル所ニ依リ蠶兒、繭及母蛾ニ付検査ヲ受クヘシ
蠶種製造者ハ普通蠶種ト爲サムトスル蠶種ニ對シ命令ノ定ムル所
ニ依リ掃立口毎ニ其母蛾ニ付歩合検査ヲ受クヘシ
蠶種製造者ハ前項ノ歩合検査ニ合格セサル蠶種ニ對シ命令ノ定ム
ル所ニ依リ母蛾又ハ卵ニ付検査ヲ受クルコトヲ得但シ第十三條但書
ノ期間内ニ検査ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス
參照 施行規則第十七條乃至第四十條、第四十二條乃至第四十六條、第四十八條
乃至第五十四條、第五十八條乃至第六十二條
第十二條 主務大臣ハ前條ノ規定ニ拘ハラズ原蠶種製造所、學校、
講習所、試験場等ニ於テ製造シタル蠶種及第十七條ノ検査ニ合格
シタル蠶種ヲ原蠶種又ハ普通蠶種ト指定スルコトヲ得
參照 施行規則第七十一條第七十二條
第十三條 地方長官ハ第十一條及第十七條ノ検査ニ合格シタル蠶種

ニハ證印ヲ押捺シ其検査ニ合格セサル蠶種ハ之ヲ燒棄スヘシ、但
シ第十一條第二項ノ歩合検査ニ合格セサル蠶種ニ付テハ地方長官
ノ定ムル期間内ニ全條第三項ノ規定ニ依ル検査ノ請求ナキハ其
期間ヲ經過シタル後之ヲ燒棄スヘシ
參照 施行規則第三十八條第三十九條第四十二條第四十九條乃至第五十四條
第十四條 検査合格ノ證印ナキ蠶種及其蠶兒ハ之ヲ讓渡シ又ハ飼育
スルコトヲ得ス但シ第十二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル蠶種及其
蠶兒ハ此ノ限ニ在ラス
第十五條 地方長官ハ錯誤ニ依リ又ハ不法ニ押捺セラレタル検査合
格ノ證印ヲ發見シタルトキハ遲滯ナク之ヲ抹消スヘシ
第十六條 蠶種製造者ニ非サル者ハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス
學術研究ノ爲ニスル場合ニ於テハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ第十四條

準用
當テ箱メル

移入又ハ輸入蠶種
ノ受檢

證明
確信ヲ與フル表
明、証印、証明
書ナド

原蠶種ニ關スル制
限

及前項ノ規定ニ拘ラス蠶種ノ製造又ハ蠶兒ノ飼育ヲ爲スコトヲ得
此ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法中蠶種製造者ニ關ス
ル規定ノ全部又ハ一部ヲ準用スルコトヲ得

參照 施行規則第六十四條乃至第七十二條

第十七條 本法ヲ施行セサル地又ハ外國ニ於テ製造シタル蠶種ヲ移
入又ハ輸入シタル者ハ其蠶種ニ對シ母蛾又ハ卵ニ付檢査ヲ受クヘ
シ但シ前條第二項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在
ラス

移入又ハ輸入前官公署ノ證明ヲ得タル蠶種ニ對シテハ前項ノ檢査
ニ代ヘ其證明ニ付檢査ヲ爲スコトヲ得

參照 施行規則第四十一條、第四十七條、第五十三條、第五十五條乃至第五十七條

第十八條 主務大臣必要ト認ムルトキハ原蠶種ノ製造若クハ其讓渡
讓受又ハ原蠶種ノ種類ヲ制限スルコトヲ得

主務大臣ハ地方特別ノ狀況ニ依リ地方長官ヲシテ前項ノ制限ヲ爲
サシムルコトヲ得

參照 施行規則第三十六條

桑苗蠶絲類ノ檢査
又ハ取引市場ノ取
締

第十九條 主務大臣又ハ地方長官ハ桑苗ノ仕立蠶絲類ノ檢査又ハ桑
苗蠶種若ハ繭ノ賣買若ハ取引市場ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發

スルコトヲ得但シ地方長官ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

參照 施行規則第七十三條乃至第七十八條

第二十條 蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ關シ取締上必要ナル事項ハ命令ヲ
以テ之ヲ定ム

參照 施行規則第三十條乃至第三十七條第五十七條乃至第六十二條

第二十一條 削除

第二十二條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第十一條及第十七條ノ檢
査其他蠶病豫防ノ爲メ必要ナル吏員ヲ置クヘシ

第二十三條 削除

吏員
自治團體ノ機關
トシテ事務ヲ執
ル

臺紙容器ニ關スル
取締

府縣ニ適用セサル
條項

野蠶

蠶業取締費

蠶種検査手数料

手數料
私人ノ利益ノ爲
ニセル國家ノ行
爲ニ對スル報償
トシテ徵收セラ
ル

第二十四條 第五條、第七條、第九條乃至第十一條第十七條及第三
十八條乃至第四十一條ノ規定ハ府縣ニ之ヲ適用セス

第二十五條 地方長官必要ト認ムルトキハ野蠶ノ飼育採種又ハ野蠶
生繭ノ取扱ヲ業トスルモノニ第四條第一項ノ規定ヲ準用スルコト
ヲ得

ヲ得

第二十六條 第十一條及第十七條ノ検査其他蠶病豫防ニ關シ必要ナ
ル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ國庫ハ其半額以内ヲ補助スルコトヲ得

第二十七條 府縣ハ第十一條第一項ノ検査ヲ受ケタル蠶種ニ對シテ
ハ命令ノ定ムル所ニ依リ原蠶種ニ供用シタルコトノ證明ナキモノ
ニ限リ検査手数料ヲ徵スヘシ

府縣ハ第十一條第三項ノ検査ヲ受ケタル蠶種ニ對シテハ命令ノ定
ムル所ニ依リ検査手数料ヲ徵收スルコトヲ得

參照 大正六年十二月十一日勅令第二百二十七號

同業組合聯合會ノ
設置

中央會ノ設置

地區
土地ヲ土臺トシ
タル區域

發起
主トナリテ事ヲ
起ス
認可

第二十八條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テ
ハ重要物産同業組合法第三條及第四條ノ規定ヲ準用ス

第二十九條 前條ノ組合聯合會及一府縣以上ヲ地區トスル蠶絲業者
ノ同業組合聯合會ニ加入セサルモノハ相互ノ氣脈ヲ通シ及蠶絲類

ノ海外貿易ノ發展其ノ他蠶絲業ノ利益増進ヲ圖ル爲全國ヲ地區ト
シテ蠶絲業同業組合中央會ヲ設置スルコトヲ得

主務大臣必要ト認ムルトキハ前項ニ掲ケタル者ノ外同業組合聯合
會ニ加入セサル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ蠶絲同業組合中央會ニ
加入スヘキ者ヲ指定スルコトヲ得

第三十條 蠶絲業同業組合中央會ノ設置ヲ發起セムトスルモノハ主
務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

法律上ノ効力ヲ
生ゼシム可ク國
家ニ認メテモラ
フコト

創立

定款

組合、會社等ノ
基本規本

強制加入

中央會々議

前項ノ認可アリタルトキハ發起人ハ同業組合聯合會一府縣以上ヲ
地區トスル同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セサルモノ及前
條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定シタル同業組合ノ三分ノ二
以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ主務大臣ノ認可ヲ
受クヘシ

參照 施行規則第八十一條乃至第八十九條

第三十一條 蠶絲同業組合中央會成立シタルトキハ同業組合聯合會
一府縣以上ヲ地區トスル同業組合ニシテ同業組合聯合會ニ加入セ
サル者及第二十九條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定シタル同
業組合ハ之ニ加入スヘシ

第三十二條 蠶絲業同業組合中央會ノ會議ハ之ヲ組織スル同業組合
聯合會及同業組合ニ於テ同業組合ノ組合員中ヨリ選舉シタル議員

ヲ以テ組織スヘシ

主務大臣ハ蠶絲業同業組合ノ中央會ノ議員定數ノ五分ノ一ヲ超ヘ
サル特別議員ヲ命スルコトヲ得

第三十三條 蠶絲業同業組合中央會議員ノ定數配當及選出方法並ニ
役員ノ名稱選任解任及權限ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ
定ム

參照 施行規則第八十二條乃至第八十六條

第三十四條 重要物産同業組合法第六條第七條及第十六條ノ規定ハ
蠶絲業同業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第三十五條 當該官吏々員ハ蠶病若ハ桑ノ病蟲害ノ豫防又ハ蠶絲類
ノ検査ニ關シ蠶種、生繭、桑苗又ハ蠶絲類ノ取扱ヲ爲ス者ノ店舗
倉庫、製造場、飼育場、圃場等ニ臨檢シ物品及帳簿其他ノ書類ヲ

中央會議員

選舉
法令ノ定ムル形
式及ヒ場所ニ於
テ特定人ヲ選フ

臨檢
場所ニ臨ミ實地
ニ検査スル
收去
所有權ヲ徵收ス

ル、除ク
 尋問 職權ヲ以テ或事
 實ヲ問ヒ尋子ル
 搜索 檢証ノ目的物ヲ
 發見スル行爲
 差押 國家強制力ニ依
 ヲテ或物件又ハ
 權利ニ對シ其權
 利者ノ處分ヲ不
 可能ナラシムル
 コト
 同居者 其ノ戶籍ヲ同シ
 ヲシ且ツ同一ノ
 家ニ住居スルモ
 業務停止免許取消
 訴願

調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品ヲ收去スルコトヲ得
 地方長官本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲アリト
 認ムルトキハ當該官吏々員ヲシテ前項ニ掲ケタル場所ニ臨檢シ犯
 罪嫌疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件帳
 簿書類ヲ搜索シ若ハ之カ差押ヲ爲サシムルコトヲ得
 臨檢尋問搜索又ハ差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス
 參照 施行規則第九十一條乃至第九十三條
 第三十六條 當該官吏々員ハ自己親族又ハ同居者ニ對シ第十一條及
 第十七條ノ檢査ヲ爲スコトヲ得ス
 第三十七條 蠶絲業者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命
 令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ地方長官ハ
 其業務ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ其免許ヲ取消スコトヲ得

處分ノ取消又ハ
 變更ヲ上級官廳
 ニ求ムルコト
 行政訴訟
 行政裁判ヲ求ム
 ルムト
 五百圓以下ノ罰金
 參百圓以下ノ罰金

貳百圓以下ノ罰金
 科料

前項ノ處分ニ不服アルモノハ訴願ヲ提起スルコトヲ得其違法ニ權
 利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得
 第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
 一、詐欺ノ所爲ヲ以テ第十一條又ハ第十七條ノ檢査ヲ受ケタル者
 二、第十四條ノ規定ニ違反シタル者
 第三十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ參百圓以下ノ罰金ニ處
 ス
 一、免許ヲ受ケスシテ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造シタ
 ル者
 二、第四條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者
 三、第七條ノ規定ニ違反シタル者
 第四十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ貳百圓以下ノ罰金又ハ科料

ニ處ス

一、第九條ノ規定ニ違反シタル者

二、第十六條第一項ノ規定ニ違反シタル者

沒收
法令ニ基キ國家
ガ強制的ニ私人
ニ屬スル物件又
ハ權利ヲ剝奪ス
ルコト

第四十一條 第三十八條第三十九條第一號第三號又ハ前條第二號ノ
犯罪ニ係ル蠶種蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シタル場合ニ於
テハ其價額ヲ追徴ス前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルト
キハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒收スルコトヲ得

職務執行妨碍

第四十二條 第三十五條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタ
ル者又ハ臨檢ノ際當該官吏々員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲ササル者ハ

貳百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

法定代理人
法律ノ規定ニヨ

第四十三條 蠶絲業者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本
法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スハキ罰則ハ之ヲ法定代理

リ發生シタル代
理權ヲ有スルモ

人ニ適用ス但シ其營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年
者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

處罰ト主業者

第四十四條 蠶絲業者ハ其代理人、戶主、家族、同居者、雇人其他

ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲
ヲナシタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其處罰ヲ免ル
ルコトヲ得ス但シ相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ
發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第四十六條 本法中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方
費ニ之ヲ準用ス

附 則

第四十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

蠶病豫防法ハ之ヲ廢止ス

第四十八條 本法ハ沖繩縣、小笠原嶋伊豆七嶋其他命令ヲ以テ指定スル地域ニ之ヲ施行セス

第四十九條 蠶病豫防法ニ依ル検査合格ノ證印ハ之ヲ本法ニ依ル検査合格ノ證印ト見做ス

第五十條 蠶病豫防法ニ依リ検査ニ合格シタル原種ハ之ヲ特別蠶種ト看做ス

第五十一條 本法施行前製造シタル自家用蠶種ノ蠶兒ハ本法施行後ト雖之ヲ飼育スルコトヲ得

第五十二條 本法施行ノ際蠶種ノ冷蔵ヲ業トスル者ハ本法施行後一年ヲ限り免許ヲ受ケスシテ其營業ヲ繼續スルヨトヲ得

附 則

本令施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

従前ノ規定ニ依ル特別蠶種ハ之ヲ原蠶種ト看做ス

免許

蠶絲業法施行規則

大正六年十二月十四日
農商務省令第三十三號

第一條 蠶絲業法第五條ノ免許ハ蠶種製造場所々在地ノ地方長官之ヲ行フ

免許願書

第二條 前條ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書ニ左ノ事項ヲ記載シ蠶種製造場所々在地ノ地方長官ニ之ヲ差出スヘシ

- 一、氏名又ハ名稱及住所
 - 二、蠶種製造ノ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名及住所
 - 三、蠶種製造場所及蠶兒飼育場所ノ所在地
 - 四、蠶室ノ棟數室數及室ノ平面積
 - 五、掃立蟻量及蠶種製造額概定數
- 地方長官蠶種製造ノ免許ヲ與ヘタルトキハ様式第一號ノ免許證ヲ

下附スヘシ

免許無能

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蠶種製造ノ免許ヲ受クルコトヲ得ス

- 一、掃立蟻量及蠶種製造額概定數ニ對スル蠶室ノ設備ナキ者
 - 二、五年以上蠶種製造ニ從事シタルコトナク且蠶絲業ニ關スル學識經驗ナキ者
- 但シ蠶種製造ノ管理者ヲ置ク者ヲ除ク
- 三、蠶絲業法第三十八條又ハ第十九條ノ規定ニ依リ處罰ヲ受タル後一年ヲ經過セサル者

蠶種製造者正當ノ事由ナクシテ一年間蠶種ノ製造ヲ爲ササルトキ又ハ前項各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ地方長官ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第四條 蠶種製造ノ管理者ハ五年以上蠶種製造ニ従事シタル者又ハ蠶絲業ニ關スル學識經驗ヲ有スル者ニシテ前條第一項第三號ニ該當セサル者タルコトヲ要ス

蠶種製造ノ管理者ハ同時ニ二人以上ノ蠶種製造者ノ蠶種製造ノ管理者タルコトヲ得ス

蠶種製造者ハ蠶種製造ノ管理者タルコトヲ得ス

地方長官蠶種製造者又ハ蠶種製造ノ管理者カ業務ヲ管理シ難シト認ムルトキハ管理者ノ設置、増員又ハ變更ヲ命スルコトヲ得

第五條 蠶種製造者ハ左ノ事項ヲ原蠶種ノ製造ニ關スルモノト普通蠶種ノ製造ニ關スルモノトニ區別シ毎年地方長官ニ届出ツヘシ

一、蠶種製造場所及蠶兒飼育場所

二、化性、越年不越年ノ別及品種名

三、掃立豫定月日

四、掃立豫定蛾數及蟻量又ハ卵量

五、蠶種製造額豫定數

第六條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ左ノ蠶項ヲ生繭取扱場所々在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

一、氏名又ハ名稱、住所及蠶絲業ニ關スル業種

二、生繭取扱場所

三、生繭取扱豫定期間

四、生繭取扱豫定數量

生繭ノ取扱ヲ爲ス者自ラ其ノ取扱場所ヲ管理セサルトキハ自己ニ代ルヘキ管理者ヲ置キ其ノ氏名及住所ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
前二項ノ規定ハ養蠶者、蠶種製造者及自家用ノ爲ニスル生繭取扱

死亡届出

者ニ之ヲ適用セス

第七條 蠶種製造者又ハ前條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者死亡シ業務ヲ廢止シ又ハ免許願書ノ記載事項若ハ前條ノ規定ニ依リ届出タル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

業務承繼

前項死亡ノ場合ニ於ケル届出ハ其相續人又ハ戶主若ハ家族ヨリ之ヲ爲スヘシ

蠶蛆、蛹蠅ノ滅殺

第八條 蠶種製造者ノ相續人ニシテ被相續人ノ業務ヲ承繼セムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ但シ被相續人ノ死亡後十五日内ニ許可ノ出願ヲ爲シタルトキハ之ニ對スル處分アル迄被相續人ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得

第九條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者蠶蛆又ハ其ノ蛹若ハ蠅

病原体ノ滅殺

ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ壓殺、熱殺又ハ水殺スヘシ

病蠶蔓延ノ處理

第十條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者病患アリト認ムル蠶兒蠶蛹、蠶蛾又ハ其ノ屍體ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ燒棄シ又ハ熱湯「フオルマリン」若ハ石灰水中ニ投入シ死籠繭又ハ薄皮繭ハ直ニ之ヲ乾燥シ又ハ熱湯中ニ投入シテ其ノ病源體ヲ滅殺スヘシ

蠶蛆驅除ノ設備

第十一條 蠶兒ノ飼育ヲ爲ス者ハ多數ノ病蠶ヲ生シ蠶病蔓延ノ虞アル場合ニ於テハ健蠶ヲ他ニ移シ病蠶及斃蠶ハ前條ニ規定シタル方法ニ依リテ處理シ其ノ蠶室及蠶具ハ第十五條ニ規定シタル方法ニ依リ之ヲ消毒スヘシ

第十二條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者生繭ヲ集散又ハ保存スル室ニ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ目張ヲ爲シ又ハ澁紙其ノ他緻密ナル目ノ敷物ヲ布キ且室ノ内圍ニ高サ二寸ヲ下ラサル障板ヲ設クヘ

シ但シ繭ノ障板ニ接觸スル場合ニ於テハ其ノ繭ノ表面ヨリ二寸以上ヲ保タシムヘシ

蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ構造ノ室又ハ容器ニ生繭ヲ保存スル場合ニ於テハ前項ノ設備ヲ爲スコトヲ要セス

第一項ノ規定ハ室ノ一部ニ生繭ヲ集散又ハ保存スル場合ニ之ヲ準用ス

床下ニ蠶蛆又ハ其ノ蛹潜伏ノ虞アルトキハ床下掃除ヲ行ヒ其ノ塵芥ノ處理ヲ爲スヘシ但シ床下ノ周圍ニ蠶蛆蠅ノ飛散ヲ防グニ足ル設備ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者生繭ヲ運搬シ又ハ之ヲ運搬セシメムトスルトキハ蠶蛆又ハ其ノ蛹ノ散逸ヲ防クニ足ルヘキ容器ニ之ヲ納ムヘシ

生繭運搬容器

蠶蛆驅除々外例

蠶室蠶具ノ消毒

第十四條 地方長官ハ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ノ虞ナキ季節又ハ土地ニ付第六條、第十二條及前條ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第十五條 蠶種製造者ハ蠶室ハ第一號、第四號又ハ第五號ニ定メタル方法ニ依リ蠶具ハ第一號乃至第四號ノ一ニ定メタル方法ニ依リ之ヲ消毒スヘシ但シ新築ノ蠶室又ハ新調ノ蠶具ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一、「フオルマリン」撒布消毒

二、蒸汽消毒

三、蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒

四、昇汞水消毒

五、格魯兒石灰水消毒

第十六條 蠶絲業法第十條第一項但書ノ規定ニ依リ蠶種ヲ指定スル

原蠶種ノ指定

蠶兒検査請求、掃立届

コト左ノ如シ
一、國ノ蠶業試験場又ハ府縣ノ原蠶種製造所ニ於テ蠶種製造者ニ
配付シタル原蠶種
二、蠶種製造者ノ製造シタル原蠶種ニシテ農商務大臣ニ於テ必要
ト認ムルモノ

第十七條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヲ終リタルトキハ左ノ
事項ヲ記載シタル原蠶種製造用蠶兒検査請求書又ハ普通蠶種製造
用蠶兒掃立届ヲ遲滞ナク地方長官ニ差出スヘシ
一、蠶兒飼育場所
二、化性越年不越年ノ別、品種名、記號、原蠶種製造者ノ氏名又
ハ名稱及住所
三、掃立月日

掃殼ノ保存

四、蛾數、蟻量又ハ卵量

掃立口

第十八條 蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終ル迄之ニ用キタル原蠶種ノ
掃殼ヲ保存スヘシ

第十九條 化性、品種名又ハ製造者ノ異ナル原蠶種ヨリ産出シタル
蠶兒、繭、蛾及卵並蠶兒飼育場所又ハ掃立月日ノ異ナル蠶兒、繭
蛾及卵ハ蠶絲業法第十條第一條第二項ノ掃立口ヲ異ニスルモノト
ス但シ地方長官必要ト認ムルトキハ蠶兒飼育場所若ハ掃立月日ノ
異ナル蠶兒、繭、蛾及卵ノ掃立口ヲ合併シ又ハ原蠶種ノ記號上簇
月日若ハ産卵月日ノ異ナル蠶兒、繭、蛾及卵、化性ノ變化ヲ生ス
ヘキ卵若ハ交雜ニ依リ産出シタル卵ノ掃立口ヲ分割スルコトヲ得
原蠶種ノ製造ニ關スル掃立口ノ區別ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス
第二十條 掃立口ノ異ナル蠶兒繭、蛾及卵ハ之ヲ混同スルコトヲ得ス

掃立口ノ混同禁止

記號番號

原蠶種製造ノ爲一蛾別飼育ニ依リ得タル繭ハ蠶種業法第十一條第一項ノ規定ニ依ル繭ノ検査ヲ終ル迄之ヲ混同スルコトヲ得ス

第二十一條 蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヨリ蠶種ノ製造ヲ終ル迄掃立口ノ異ナルモノ毎ニ記號ヲ附シ其ノ蠶種ニハ框製及平附ハ一枚毎ニ、袋製ハ一容器毎ニ記號別ニ依リ起算シタル番號ヲ附スヘシ但シ交雜ニ依リ製造シタル蠶種ノ記號ハ雌蛾及雄蛾ヲ出シタル掃立口ノ記號ヲ併用スヘシ

蠶絲業法第十條ノ規定ニ依リ一蛾別飼育ヲ爲ス蠶兒及其ノ繭ニハ同法第十一條第一項ノ規定ニ依ル繭ノ検査ヲ終ル迄記號別ニ依リ起算シタル番號ヲ附スヘシ

繭検査請求

第二十二條 蠶種製造者原蠶種製造用蠶兒ノ上簇ヲ終リタルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル繭検査請求書ヲ遲滞ナク地方長官ニ差出ス

ヘシ

一、蠶兒飼育場所

二、化性、品種名、記號及上簇蛾區數

三、上簇ノ始期及終期

第二十三條 蠶種製造者ハ蠶絲業法第十一條第一項ノ規定ニ依ル繭ノ検査ヲ終ル迄原蠶種製造用繭ヲ蠶兒飼育場所以外ニ搬出スルコトヲ得ス但シ天災其ノ他不可抗力ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條 蠶種製造者普通蠶種製造用繭ノ收穫ヲ終リタルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル收繭届ヲ遲滞ナク地方長官ニ差出スヘシ

一、化性品種名及記號

二、上簇月日

三、繭色

原蠶繭搬出禁止

收繭届

種繭証明書下附

四、日本種支那種歐羅巴種等ノ系統
 五、種繭及種繭ト爲ササル繭ノ樹量
 固定種ニシテ其ノ系統ノ明カナルモノニ付テハ其ノ系統ヲ前項第
 四號ノ記載事項ニ附記スヘシ
 第二十五條 普通蠶種ノ製造ニ供用スヘキ種繭ニ對シテハ蠶種製造
 者ノ請求ニ依リ掃立口ノ異ナルモノ毎ニ様式第二號ノ種繭証明書
 ヲ下附ス
 前項ノ規定ニ依ル請求ハ前條ノ規定ニ依リ差出スヘキ收繭届ニ附
 記シテ之ヲ爲スコトヲ得
 第二十六條 蠶種製造者普通蠶種製造用蠶兒ヲ他人ニ讓渡シタルト
 キハ其ノ化性品種名記號及掃立口ヲ分割シタルトキハ全部ニ對ス
 ル割合ヲ遲滞ナク届出ツヘシ

蠶兒ノ讓渡分割

無証種繭ノ讓渡受
禁止

種繭ノ讓渡受

前項ノ規定ニ依ル届出ハ讓受人蠶種製造者ナルトキハ雙方連署シ
 テ之ヲ爲スコトヲ要ス
 第二十七條 種繭検査合格證又ハ種繭證明書ナキ種繭ハ之ヲ讓渡シ
 又ハ讓受クルコトヲ得ス
 第二十八條 蠶種製造者種繭ヲ讓渡シタルトキハ掃立口全部ノ讓渡
 ニ付テハ種繭検査合格證又ハ種繭證明書ノ裏書ヲ、一部ノ讓渡ニ
 付テハ讓渡人ハ種繭検査合格證又ハ種繭證明書ノ裏書ヲ讓受人ハ
 其ノ下附ヲ遲滞ナク請求スヘシ但シ蠶種製造者ニ非サル者ニ讓渡
 シタル場合ニ於テハ掃立口全部ノ讓渡ニ付テハ種繭検査合格證又
 ハ種繭證明書ヲ返納シ、一部ノ讓渡ニ付テハ之カ裏書ヲ請求スヘ
 シ、第二十六條及前項ノ手續ハ讓渡人ノ所轄蠶業取締所ニ付之ヲ
 行フヘシ讓受人蠶種製造者ナルトキハ其蠶業取締所ハ讓受人ノ所

製造廢止

轄蠶業取締所ニ其ノ旨ヲ通知ス

第二十九條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヲ終リタル後ニ於テ蠶種製造ノ全部ヲ廢止シタルトキハ其ノ旨ヲ其ノ一部ヲ廢止シタルトキハ其ノ廢止シタル蠶兒又ハ繭ニ付第十七條各號ノ事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滯ナク地方長官ニ差出スヘシ但シ第二十六條又ハ前條ノ手續ヲ爲シタル場合ハ此限ニ在ラス

種繭検査合格證又ハ種繭證明書アル種繭ニ依ル蠶種ノ製造ヲ廢止シタル場合ニ於テハ其ノ種繭検査合格證又ハ種繭證明書ヲ前項ノ届書ニ添附スヘシ

臺紙、容器ノ再用
禁止

第三十條 蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ニ供用シタル臺紙又ハ卵ノ容器ヲ再用スルコトヲ得ス

臺紙、容器ノ記載
事項

第三十一條 蠶種製造者ハ母蛾ノ検査ヲ受クル前左ノ事項ヲ様式第

三號ニ依リ框製ニ在リテハ臺紙ノ表面及裏面ニ、平附ニ在リテハ臺紙ノ裏面ニ袋製ニ在リテハ容器ノ表面ニ記載スヘシ但シ平附不越年蠶種ノ産卵月日ハ臺紙ノ表面ニ之ヲ記載スヘシ

一、化性、越年不越年ノ別、品種名及記號

二、蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱、住所及蠶種製造場所

三、繭色

四、日本種、支那種、歐羅巴種等ノ系統

五、産卵月日

六、平附ニ在リテハ産卵蛾數、袋製ニ在リテハ袋數

蠶種ヲ移入又ハ輸入シタル者ハ蠶絲業法第十七條ノ検査前左ノ事項ヲ様式第三號ニ準シ其ノ臺紙又ハ容器ニ記載スヘシ
一、化性及品種名

二、移入又ハ輸入シタル者ノ氏名又ハ名稱及住所

三、蠶種製造地

四、繭色

五、袋製ニ在リテハ袋數、框製、平附又ハ散卵ニ在リテハ卵量

第三十二條 前條第一項第一號ノ化性及品種名ハ其ノ蠶種ヲ製造ス

ヘキ繭ヲ産出シタル原蠶種ヨリ之ヲ襲用スヘシ但シ地方長官ノ許

可ヲ得タルトキハ化性又ハ品種名ヲ變更スルコトヲ得

第三十三條 蠶種製造者又ハ蠶種ノ賣買ニ従事スル者ハ第二十一條

又ハ第三十一條ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙若ハ容器ニ記載シタル文

字ヲ訂正、増加若ハ抹消シ又ハ框製蠶種若ハ袋製蠶種ノ區若ハ袋

ノ填補ヲ爲スコトヲ得ス但シ蠶種製造者ニシテ自己ノ製造シタル

蠶種ニ付第五十八條ノ規定ニ依リ填補ヲ爲ス場合又ハ地方長官ノ

化性品種名ノ襲用

記載文字ノ訂正増
加抹消又ハ填補ノ禁
止

臺紙母蛾ノ制定

承認ヲ經テ訂正、増加若ハ抹消ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

地方長官前項但書ノ規定ニ依リ文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ承認

シタルトキハ其ノ箇所ニ様式第四號ノ變更變印ヲ押捺スヘシ

第三十四條 蠶種ノ臺紙ハ縦一尺一寸七分横七寸四分ノ厚紙トス

原蠶種ヲ框製ト爲サムトスルトキニ其ノ臺紙ヲ二十八區ニ區劃シ

一母蛾ヲシテ一區ニ産卵セシメ母蛾ト其ノ區トニ同一ノ符號ヲ附

シ、袋製ト爲サムトスルトキハ紙又ハ布製ノ袋内ニ一母蛾ヲ容レ

産卵セシメ二十八袋ヲ一容器ニ納ムヘシ

普通蠶種ハ框製ニ在リテハ前項ノ規定ニ準シテ之ヲ製造シ平附ニ

在リテハ臺紙一枚ニ付キ百蛾以内ヲ産卵セシメ框製蠶種又ハ平附

蠶種一枚毎ノ母蛾ヲ一容器ニ納メ蠶種ト容器トニ同一ノ番號ヲ附

スヘシ

袋製散卵ノ許可

第三十五條 蠶種製造者普通蠶種ヲ袋製又ハ散卵ト爲サムトスルト
キハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ袋製ハ前條袋製ノ規定ニ準シ之ヲ製造シ散卵ハ百蛾以内ノ
卵及其ノ母蛾ヲ各別ニ容器ニ納メ之ニ同一ノ番號ヲ附スヘシ
本則ノ適用ニ付テハ第一項ノ袋製ハ前條ノ框製、散卵ハ同條ノ平
附ト看做ス但シ臺紙ニ行フヘキ處分ハ之ヲ容器ニ行フ
一容器ニ納ムヘキ散卵ハ卵量八匁以内タルコトヲ要ス

原蠶種種ノ限定

第三十六條 蠶種製造者ノ種造スヘキ原蠶種ハ純粹種又ハ固定種タ
ルコトヲ要ス

但シ地方長官必要ト認ムルトキハ交雜普通蠶種ヲ製造スル爲交雜
ニ依ル原蠶種ノ製造ヲ許可スルコトヲ得

交雜種ノ化性品種
名

第三十七條 交雜蠶種ノ化性ハ雌蛾ニ依リ、品種名ハ雌蛾及雄蛾ニ

原蠶種種ノ検査順序

依リ交雜ノ二字ヲ冠スヘシ但シ純粹種又ハ固定種ヲ交雜シタル普
通蠶種ニハ一代交雜ノ四字ヲ冠スヘシ
交雜蠶種又ハ一代交雜蠶種ニ非サル蠶種ノ臺紙又ハ容器ニハ交雜
又ハ一代交雜タルコトヲ示スヘキ文字ヲ記載スルコトヲ得ス

第三十八條 蠶絲業法第十一條第一項ノ検査ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ
行フ

- 一、蠶兒ノ検査
- 二、繭ノ検査
- 三、母蛾ノ検査

第三十九條 前條ノ蠶兒及繭ノ検査ハ一蛾別飼育ヲ爲シタルモノニ
在リテハ一蛾別ニ之ヲ爲サ、ルモノニ在リテハ掃立口別ニ蠶兒ハ
體色、體型、脚色及蠶病ニ付、繭ハ繭色、繭型及繭層量ニ付之ヲ

前條ノ検査方式

行フ但シ二化性一化不越年種及多化性種ニ付テハ繭層量ノ検査ヲ行ハス

前條ノ母蛾ノ検査ハ一蛾毎ニ微粒子ノ有無ニ付之ヲ行フ
第一項ノ検査ハ蠶兒飼育場所ニ於テ之ヲ行ヒ前項ノ検査及第一項ノ検査中微粒子ノ顯微鏡検査ハ蠶業取締所ニ於テ之ヲ行フ

歩合再検査方式

第四十條 蠶絲業法第十一條第二項ノ検査ハ掃立口ノ異ナルモノ毎ニ十蛾又ハ十蛾未滿ニ付一蛾ノ割合ヲ以テ母蛾ヲ採リ一蛾毎ニ微粒子ノ有無ニ付之ヲ行ヒ、同條第三項ノ検査ハ框製ニ在リテハ一蛾區毎ニ、平附ニ在リテハ一枚毎ニ母蛾ノ微粒子ノ有無ニ付之ヲ行フ

地方長官必要ト認ムルトキハ普通蠶種一枚ノ卵ノ一部ヲ採リ微粒子ノ有無ニ付蠶絲業法第十一條第三項ノ検査ヲ行フコトヲ得

移輸入蠶種検査方式

第四十一條 蠶絲業法第十七條第一項ノ検査ハ母蛾アルモノハ母蛾母蛾ナキモノハ卵ノ微粒子ノ有無ニ付之ヲ行フ

移出又ハ輸出地ノ官署公署ニ於テ微粒子ナキコトヲ證明シタル蠶種ニ對シテハ其ノ證明ニ付検査ヲ行ヒ之ヲ前項ノ規定ニ依ル検査ニ代フ但シ地方長官必要ト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

前條及前二項ノ検査ハ蠶業取締所ニ於テ之ヲ行フ

蠶兒繭検査合否ノ決定

第四十二條 第三十九條第一項ノ蠶兒及繭ノ検査ハ左ノ各號ニ依リ合否ヲ決ス

- 一、稚蠶期及壯蠶期ニ於テ病蠶ノ數蠶兒ノ總數ニ對シ十分ノ一未滿ノモノニシテ微粒子病ノ疑ナキ蠶兒又ハ微粒子ヲ發見セサル蠶兒ノ合格トシ然ラサルモノヲ不合格トス
- 二、一蛾別ニ検査ヲ行フモノニ在リテハ全蛾區ヲ對照シ稚蠶期ニ

於テ體色ノ齊一ナル蛾區壯蠶期ニ於テ脚色及體型齊一ナル蛾區及繭ニ於テ繭色及繭型齊一ナル蛾區ニシテ全蛾區中最多數ヲ占ムル體色、體型、脚色、繭色、及繭型ヲ有スルモノヲ合格トシ、其ノ他ノモノヲ不合格トシ掃立口別ニ検査ヲ行フモノニ在リテハ稚蠶期ニ於テ體色ノ齊一ナルモノ、壯蠶期ニ於テ脚色及體型齊一ナルモノ及繭ニ於テ繭色及繭型齊一ナルモノヲ合格トシ然ラサルモノヲ不合格トス

三、繭ノ平均一顆ノ繭層量左ノ量ニ該當スルモノヲ合格トシ然ラサルモノヲ不合格トス

- 一化性日本種及其ノ系統ニ屬スルモノ 五厘五毛以上
- 一化性支那種及其ノ系統ニ屬スルモノ 五厘以上
- 一化性歐羅巴種及其ノ系統ニ屬スルモノ 七厘以上

二化性一化越年種及二化性二化種ノモノ 四厘以上

固定種ニシテ其ノ系統明カナルモノ 之ヲ産出シタル系統ノ平均繭層量以上

地方長官必要ト認ムルトキハ前項第一號ノ規定ニ依ル微粒子ノ掃立口別検査ノ決定ヲ掃立口別コ依ラス又ハ第十六條第一號ノ蠶種ヨリ産出シタル蠶兒及繭ニ對シ前項第二號ノ検査ヲ省略スルコトヲ得

第四十三條 地方長官必要ト認ムルトキハ一蛾別ニ検査ヲ行ヒタル繭ニシテ前條第一項第二號ノ規定ニ依リ不合格トスヘキモノト雖之ヲ合格トシ原蠶種ノ製造ニ供用セシムルコトヲ得

第四十四條 第四十二條ノ蠶兒及繭ノ検査ニ合格シタル種繭ニ對シテハ掃立口ノ異ナルモノ毎ニ様式第五號ノ種繭検査合格證ヲ下附

不合格蠶兒繭ニ付
テ特令

種繭検査合格證掃
殼證印

ス第四十二條第一項ノ稚蠶期ノ蠶兒ノ検査ヲ行ヒタルトキハ其ノ蠶兒ノ掃殻ニ様式第六號ノ原蠶種掃殻證印ヲ押捺ス
交雜蠶種ノ製造ニ供用スヘキ種繭及第三十二條但書ノ規定ニ依リ變更ヲ許可シタル種繭ノ數量ハ第一項ノ種繭検査合格證ニ之ヲ記載ス

原蠶種母蛾検査請求書

第四十五條 蠶種製造者原蠶種ノ母蛾ノ検査ヲ受ケムトスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル原蠶種母蛾検査請求書ヲ地方長官ニ、母蛾及蠶種ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

- 一、蠶種製造場所
- 二、化性品種名及記號
- 三、産卵月日
- 四、製造方法別ニ依ル製造額

歩合検査請求書

第四十六條 蠶種製造者普通蠶種ノ歩合検査ヲ受ケムトスルトキハ前條第一號乃至第四號ノ事項及製造方法別ニ依ル母蛾數ヲ記載シタル普通蠶種歩合検査請求書ヲ地方長官ニ母蛾及蠶種ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

移輸入蠶種検査請求書

第四十七條 移入又ハ輸入蠶種ノ検査ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル移入又ハ輸入蠶種検査請求書ヲ地方長官ニ、母蛾アルモノハ母蛾及蠶種母蛾ナキモノハ蠶種ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

- 一、蠶種ノ製造地及品種名
- 二、蠶種ノ數量母蛾アルモノハ其ノ母蛾ノ數量
- 三、原蠶種又ハ普通蠶種指定要求數量

第四十八條 蠶種製造者ハ母蛾ニ熱又ハ藥液ヲ加ヘ其ノ他斃死ヲ速

止母蛾人爲的斃死禁止

原母蛾検査ノ處理方法

カナラシムヘキ方法ヲ用ウルコトヲ得ス但シ不越年蠶種ニシテ已ムヲ得サル場合ハ此ノ限ニ在ラス

地方長官ハ前項ノ規定ニ違反シタルモノノ故意若ハ過失ニ依リ微粒子ノ檢出ヲ困難ナラシメタルモノ又ハ母蛾ノ取替若ハ混亂ノ疑アルモノニ對シ蠶種ノ検査ヲ拒ムコトヲ得

第四十九條 原蠶種ノ母蛾ノ検査ハ顯微鏡ヲ以テ之ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セサル區又ハ袋ヲ合格トシ之ヲ發見シタルトキハ様式第七號ノ有毒印ヲ其ノ産卵シタル區又ハ袋ニ押捺シ之ヲ不合格トス

母蛾ノ亡失又ハ混亂シタル區又ハ袋ニハ様式第八號ノ缺蛾印ヲ押捺ス

第一項ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第九號ノ原蠶種検査合格證印ヲ押捺ス但シ前二項ノ規定ニ依リ有毒印

前條百分ノ五以上ノモノ、下格

歩合検査ノ處理方法

又ハ缺蛾印ヲ押捺シタル區又ハ袋アルトキハ之ヲ除去ス

第五十條 地方長官必要ト認ムルトキハ前條ノ検査ニ依リ百分ノ五以上ノ微粒子ヲ發見シタル蠶種ノ掃立口ノ全部又ハ一部ヲ普通蠶種ト爲スコトヲ得

第五十一條 普通蠶種ノ歩合検査ハ顯微鏡ヲ於テ之ヲ行ヒ微粒子ヲ發見シタルモノノ検査蛾數ノ百分ノ一未滿ナルトキハ其ノ掃立口全部ノ蠶種ヲ合格トシ百分ノ一以上ナルトキハ之ヲ不合格トス

前項ノ検査ニ合格シタル蠶種又ハ前條ノ規定ニ依リ普通蠶種ト爲シタル蠶種ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第十號ノ普通蠶種検査合格證印ヲ押捺ス

第五十二條 前條第一項ノ検査ニ不合格トナリタル蠶種ニ付テハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス

歩合不合格蠶種ノ通知及再検査請求

前項ノ通知ヲ受ケタル者蠶絲業法第十一條第三項ノ検査ヲ受ケン
トスルトキハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ再検査ヲ受ケムトスル部
分ニ付左ノ事項ヲ記載シタル普通蠶種再検査請求書ヲ地方長官ニ
差出スヘシ

一、化性、品種名、記號及番號

二、製造方法別ニ依ル製造額及母蛾數

蠶種製造者ハ第四十六條ノ普通蠶種歩合検査請求書ニ再検査ヲ受
ケムトスル部分ニ付前項ニ掲ケタル事項ヲ附記シ豫メ之カ請求ヲ
爲スコトヲ得

検査變更

第五十三條 蠶種製造者又ハ移入若ハ輸入蠶種ノ検査ヲ請求シタル
者ハ地方長官ノ許可ヲ得タル場合ニ於テ蠶絲業法第十一條第一項
又ハ第五十五條第一項ノ検査終了前其ノ検査ノ請求ヲ蠶絲業法第

十一條第二項又ハ第五十五條第二項ノ検査ノ請求ニ變更スルコト
ヲ得但シ病蠶又ハ微粒子ノ検査ニ不合格トナリタルモノハ此ノ限
ニ在ラス

再検査處理方法

第五十四條 蠶絲業法第十一條第三項ノ検査ハ框製ニ在リテハ第四
十九條ノ規定ニ準シ合否ノ決定及蠶種ノ處分ヲ爲シ平附ニ在リテ
ハ顯微鏡ヲ以テ十鏡面ヲ檢シ微粒子ヲ發見セサルモノヲ合格トシ
然ラサルモノヲ不合格トス

普通蠶種ノ卵ノ検査ハ顯微鏡ヲ以テ十鏡面ヲ檢シ微粒子ヲ發見セ
サルモノヲ合格トシ然ラサルモノヲ不合格トス

第一項又ハ前項ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ様式第十一號ノ普通
蠶種再検査合格證印ヲ其ノ臺紙ニ押捺ス

第五十五條 移入又ハ輸入蠶種ニシテ原蠶種ト爲スヘキモノノ母蛾

移輸入蠶種検査處理方法

ノ検査ハ一母蛾毎ニ卵ト對照シ得ルモノニ付テハ第四十九條ノ規定ニ準シ合否ノ決定及蠶種ノ處分ヲ爲シ之ヲ對照スルコト能ハサルモノニ付テハ全部ノ母蛾ニ付顯微鏡ヲ以テ之ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セサルモノハ之ニ對スル蠶種ノ全部ヲ合格トシ然ラサルモノヲ不合格トス、卵ノ検査ハ一枚又ハ一容器毎ニ前條第二項ノ規定ニ準シ合否ヲ決ス

移入又ハ輸入蠶種ニシテ普通蠶種ト爲スヘキモノ、母蛾及卵ノ検査ハ前項ノ規定ニ準シ合否ヲ決ス但シ一母蛾毎ニ卵ト對照スルコト能ハサルモノニ付テハ第四十條第一項及第五十一條第一項ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ様式第十二號ノ原蠶種印ヲ、前項ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ様式第十三號ノ普通蠶種印ヲ、

第四十一條第二項ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ様式第十二號ノ原蠶種印若ハ様式第十三號ノ普通蠶種印ヲ其ノ臺紙又ハ容器ニ押捺ス

第五十六條 地方長官必要ト認ムルトキハ前條第一項ノ検査ヲ經タル蠶種ニ付第五十條ノ規定ニ準シ其ノ蠶種ヲ普通蠶種トシ様式第十三號ノ普通蠶種印ヲ押捺スルコトヲ得

第五十七條 検査證印ヲ容器ニ押捺シタル場合ニ於テハ様式第十四號ノ封緘印ヲ押捺ス

封緘印ナキ蠶種ハ之ヲ讓渡シ又ハ讓受クルコトヲ得ス

第五十八條 蠶種製造者本則ノ規定ニ依リ除去セラレ又ハ自ら除去シタル區又ハ袋ニ検査合格ノ區又ハ袋ヲ填補セムトスルトキハ所轄蠶業取締所ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ普通蠶種ニシテ母蛾検査前

移輸入原蠶種ナ普通蠶種ト爲シ得ル件

封緘印

填補

容器變更ノ場合

ニ記號ヲ記載シタル區ヲ以テ同一掃立口ニ屬スル蠶種ニ填補セムトスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

袋製原蠶種ノ填補ヲ爲サムトスルトキハ第四十九條第三項ノ處分前ニ之ヲ行フヘシ

第一項ノ規定ニ依リ填補シタル框製蠶種ノ填補區ニハ様式第十五號ノ繼印ノ押捺ヲ受クヘシ

第五十九條 蠶種製造者ハ検査證印アル蠶種ヲ散卵ト爲シタル爲新ニ容器ヲ用キタルトキ又ハ己ムヲ得サル事由ニ因リ容器ヲ變更シ若ハ開封シタルトキハ其ノ容器ニ對シ検査證印又ハ封緘印ノ押捺ヲ請求ヲルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ散卵ト爲シタル蠶種ノ臺紙又ハ己ムヲ得サル事由ヲ證スルニ足ル書類若ハ物件ヲ添附シ其ノ請求

蠶種ノ分割

原蠶種供用證明提

書及新ニ検査證印又ハ封緘印ヲ受ケムトスル容器ヲ所轄蠶業取締所ニ差出スヘシ

前項ノ容器ニハ第二十一條第一項及第三十一條ニ規定スル事項ヲ記載スヘシ

地方長官必要ト認ムルトキハ第一項ノ請求アリタル蠶種ニ對シ第五十四條第二項ノ規定ニ準シ卵ノ顯微鏡検査ヲ行ヒ又ハ其ノ請求ヲ拒絕スルコトヲ得

第六十條 框製又ハ平附蠶種ヲ分割シテ讓渡サントスル者ハ其ノ臺紙ノ裏面ニ截斷スヘキ部分ヲ區劃シ各部ニ第二十一條第一項及第三十一條ニ規定スル事項ヲ記載シ検査證印ノ押捺ヲ受クヘシ

第六十一條 蠶種製造者ハ自己ノ製造ニ係リ蠶絲業法第十一條第一項ノ検査ニ合格シタル蠶種ニシテ原蠶種ニ供用セラレタルモノニ

付地方長官ノ定ムル所ニ依リ之ヲ證明スルニ足ル書類又ハ掃殻ヲ差出スヘシ

原蠶種印ノ取消

第六十二條 原蠶種ヲ蠶種製造用以外ノ目的ニ使用セムトスル者ニ讓渡サムトスル者ハ蠶業取締所ニ於テ原蠶種検査合格證印又ハ第五十五條第三項ノ規定ニ依ル原蠶種印ノ取消及普通蠶種検査合格證印又ハ普通蠶種印ノ押捺ヲ受クヘシ

前項ノ取消ヲ爲ス場合ニ於テハ様式第十六號ノ消印ヲ其ノ取消スヘキ印ノ上ニ押捺ス

蠶種製造者特別ノ事情アルトキハ前項ノ處分ヲ受ケタル蠶種ニ對シ復舊ノ處分ヲ受クルコトヲ得

證印蠶種微粒子ノ鏡檢禁止

第六十三條 法人、組合其ノ他ノ團體ハ其ノ團體員又ハ他人ノ爲ニ検査證印アル蠶種ニ付微粒子ノ顯微鏡検査ヲ爲スコトヲ得ス

學術研究

第六十四條 學術研究ノ爲蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ爲サムトスル者ハ農商務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニシテ蠶絲業法

第四條第一項ノ適用ヲ免レントスル者亦前項ニ同シ

第一項ノ許可ヲ受ケタル者ニハ第十二條及第十三條ノ規定ヲ準用ス

國ノ學校、試験場等又ハ府縣ノ原蠶種製造所ハ前三項ノ規定ニ拘ラス學術研究ノ爲蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ蠶絲業法第四條第一項ノ適用ヲ免除ス

第六十五條 前條第一項又ハ第二項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

一 氏名又ハ名稱及住所

前條許可申請

學研蠶種配付

二 研究ノ目的
 三 研究ノ期間
 四 研究ノ方法
 五 研究ニ從事スル者及之ヲ主管スル者ノ氏名並履歴ノ要領
 六 前條第二項ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ適用ヲ免レムトスル範圍

學校、講習所又ハ試験場等ニ在リテハ直接執務ノ任ニ當ル職員ヲ以テ前項第五號ノ研究ニ從事スル者、校長、所長、場長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ以テ其ノ主管者ト看做ス

第六十六條 道府縣、郡市又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ノ學校講習所又ハ試験場等ニシテ蠶絲業ニ關スル學識經驗アル專任職員二人以上ヲ有シ蠶量十匁以上ヲ飼育スルニ適當ナル蠶室、蠶具其ノ他

前條第一項ノ許可申請

學研申請事項變更届

ノ設備ヲ有スルトキハ第六十四條第一項ノ許可ヲ得テ製造シタル蠶種ヲ農商務大臣ノ許可ヲ受ケ配付スルコトヲ得

農商務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リ配付スヘキ蠶種ノ數量ヲ制限スルコトヲ得

第六十七條 前條第一項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

- 一 蠶室、蠶具桑園其ノ他ノ設備
- 二 蠶種ノ製造検査及配付ニ關スル規定
- 三 配付セムトスル原蠶種又ハ普通蠶種ノ數量
- 四 蠶種ヲ配付セムトスル期間
- 五 專任職員ノ氏名及履歴ノ要領

第六十八條 第六十五條第一項又ハ前條ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生

シタルトキハ遲滞ナク之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ
第六十四條第一項、第二項又ハ第六十六條第一項ノ許可ヲ受ケタル者學術ノ研究又ハ蠶種ノ配付ヲ廢止シタルトキハ遲滞ナク之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

學研許可事項ノ取消

學研配付蠶種製造
検査方法

原蠶種普通蠶種ノ
指定

第六十九條 農商務大臣必要ト認ムルトキハ第六十四條第一項第二項又ハ第六十六條第一項ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第七十條 第六十六條第一項ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所又ハ試験場等ニ於テ配付スヘキ蠶種ノ製造及検査ノ方法ハ原蠶種ト爲スヘキモノニ在リテハ本則中原蠶種ニ關スル規定ニ普通蠶種ト爲スヘキモノニ在リテハ普通蠶種ニ關スル規定ニ準據スヘシ
第七十一條 蠶絲業法第十二條ノ規定ニ依リ原蠶種及普通蠶種ヲ指定スルコト左ノ如シ

原蠶種

一 國ノ學校試験場等又ハ府縣ノ原蠶種製造所ニ於テ蠶種製造用トシテ配付スヘキモノ

二 道府縣ノ學校、講習所又ハ試験場等ニ於テ第六十六條第一項ノ許可ヲ受ケ蠶種製造用トシテ配付スヘキモノ
三 第五十五條第三項ノ規定ニ依リ原蠶種印ヲ押捺シタルモノ
普通蠶種

一 國ノ學校、試験場等又ハ府縣ノ原蠶種製造所ニ於テ製絲繭生産用トシテ配付スヘキモノ
二 道府縣、郡市又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ノ學校、講習所又ハ試験所等ニ於テ第六十六條第一項ノ許可ヲ受ケ製絲繭生産用トシテ配付スヘキモノ

製造所學校試驗場等ノ證印

不化蛹繭ノ賣買禁止

桑苗生産届

三 第五十五條第三項ノ規定ニ依リ普通蠶種印ヲ押捺シタルモ

第七十二條 府縣ノ原蠶種製造所ハ原蠶種タルヘキ蠶種ニ様式第十七號普通蠶種タルヘキ蠶種ニ様式第十八號ノ證印ヲ押捺シ第六十六條第一項ノ許可ヲ受ケタル學校講習所又ハ試驗場等ハ原蠶種タルヘキ蠶種ニ様式第十九號普通蠶種タルヘキ蠶種ニ様式第二十號證印ヲ押捺スヘシ

第七十三條 死籠繭ヲ除ク外化蛹セサル生繭ハ賣買スルコトヲ得ス但シ其ノ生繭ヲ搬出セス又ハ搬出セシメサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十四條 他人ニ讓渡ス目的ヲ以テ桑苗ノ生産ヲ業トスル者ハ左ノ事項ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

一 氏名又ハ名稱及住所

二 桑苗生産ノ場所

三 桑苗ノ品種別生産豫定數

四 仕立法別桑苗圃ノ面積

第七條ノ規定ハ前項ノ届出ヲ爲シタル者ニ之ヲ準用ス

第七十五條 前條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者ハ其ノ生産ノ場所

ニ在ル桑苗ノ葉ヲ摘採シ又ハ摘採セシムルコトヲ得ス

第七十六條 害菌、害虫又ハ其ノ他ノ原因ニ因リ著シク發育ノ不良

ナル桑苗及害菌又ハ害虫ノ附着セル桑苗ハ之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第七十七條 蠶種製造者又ハ第六條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル生

絲製造者、眞綿製造者又ハ生繭ノ賣買、仲立、保管殺蛹乾繭ニ從

事スル者ハ蠶種製造用蠶兒ノ飼育場所蠶種製造場所又ハ生繭取扱

桑苗葉摘採禁止

病害桑苗ノ讓渡禁止

標札標木

場所毎ニ様式第二十一號ノ標札ヲ掲クヘシ
第七十四條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者ハ桑苗圃毎ニ様式第二十二條ノ標木ヲ建ツヘシ

鑑札ノ携帶下附

第七十八條 蠶種製造者若ハ蠶種ノ賣買ヲ業トスル者蠶種ノ行商ヲ爲サムトスルトキ又ハ營業トシテ生繭ノ取扱ヲ爲ス店舗以外ノ場所ニ於テ生繭ノ賣買ヲ爲サントスルトキハ様式第二十三條ノ鑑札ヲ携帶スヘシ、雇人其ノ他ノ從業者ヲシテ之ヲ爲サシムル場合ニ於テ從業者ニ様式第二十四條ノ鑑札ヲ携帶セシムヘシ
前項ノ規定ニ依ル鑑札ノ下附ハ住所地ノ地方長官ニ之ヲ出願スヘシ

聯合會地區

第七十九條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ルヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

聯合會設置

第八十條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重要物産同業組合法施行規則第三條乃至第十一條ノ規定ヲ準用シ同則第四十一條第一項第二項、第四項ノ規定ヲ適用セス但シ發起人ハ同業組合ノ代表者タルコトヲ要ス
前項ノ發起人ノ數ハ五名以上タルコトヲ要セス
蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ定款ニハ地區及營業ノ種類ヲ記載スヘシ

中央會設置發起人

第八十一條 蠶絲業同業組合中央會設置ノ發起人ハ之ヲ組織スヘキ同業組合聯合會及同業組合ノ代表者ニシテ其ノ數ハ十名以上タルコトヲ要ス

中央會議員ノ定數配當

第八十二條 蠶絲業同業組合中央會ノ議員ノ定數及配當ハ農商務大臣之ヲ告示ス

前項ノ告示アリタルトキハ一月内ニ議員ヲ選舉シ之ト同時ニ同數ノ補缺議員ヲ選舉スヘシ
蠶絲業同業組合中央會ハ其ノ定款ニ於テ議員タルヘキ者ノ資格ヲ定ムルコトヲ得

議員ノ選舉

第八十三條 議員及補缺議員ノ選舉ハ同業組合聯合會又ハ同業組合ノ總會若ハ組合會ニ於テ投票ニ依リ之ヲ行フヘシ
議員ニ缺員ヲ生シタルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ補缺議員ヲ以テ之ヲ補充ス議員若ハ補缺議員ノ任期滿了シタルトキ又ハ之ニ缺員ヲ生シタルトキハ直ニ其ノ選舉ヲ行フヘシ但シ任期滿了ノ場合ニハ其ノ前ニ補缺議員缺員ノ場合ニハ其ノ後ニ於ケル最近ノ總會又ハ組合會ニ於テ之カ選舉ヲ行フコトヲ得
選舉ハ有効投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トシテ得票ノ數

當選告知

相同シキキハ年齡ニ依リ年齡相同シキキハ抽籤ニ依リ之ヲ定ムヘシ
第八十四條 選舉ヲ終リタルトキハ組長ハ選舉錄ヲ作り且當選者ニ當選ノ告知ヲ爲スヘシ
前項ノ告知ヲ受ケタル者ハ七日内ニ其ノ當選ノ諾否ヲ組長ニ届出ツヘシ

當選者當選ヲ承諾シタルトキハ組長ハ直ニ當選證書ヲ交付シ其ノ氏名ヲ地區内ニ公告スヘシ但シ前條第三項但書ノ規定ニ依リ議員ノ任期滿了前ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ在リテハ任期滿了後ニ於テ其ノ當選證書ヲ交付スヘシ
前項ノ承諾アリタルトキハ選舉錄ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ農商務大臣ニ報告シ且其ノ氏名ヲ蠶絲業同業組合中央會ニ通知スヘシ

當選辭退

第八十五條 當選ノ確定前議員ノ當選者其ノ當選ヲ辭シ又ハ議員タ

議員ノ任期

ルヘキ資格ヲ失ヒタルトキハ補缺議員ニ當選シタル者ヲ以テ議員ノ當選者トシ更ニ補缺議員ノ選舉ヲ行フヘシ

第八十六條 蠶絲業同業組合中央會ノ議員其ノ補缺議員及特別議員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ三年トス

第八十三條第二項ノ規定ニ依リ補充シタル議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選出セラレタル議員及其ノ補缺議員ハ他ノ議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス農商務大臣必要ト認ムルトキハ特別議員ノ任期ヲ伸縮スルコトヲ得

中央會役員

第八十七條 蠶絲業同業組合中央會ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ

- 會長 一名
- 副會長 若干名
- 評議員 若干名

役員ノ選舉

前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

第八十八條 會長、副會長ハ議員及特別議員中ヨリ議員及特別議員ニ於テ之ヲ選舉シ、評議員ハ議員ニ於テ其ノ三分ノ二、特別議員ニ於テ其ノ三分ノ一ヲ互選シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ必要アルトキハ會長及副會長ニ限リ議員及特別議員ニ非サル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

役員權限

第八十九條 會長ハ會務ヲ總理シ會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

副會長ハ定款ノ定ムル所ニ依リ會長ノ擔任スル事務ノ一分ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ及會務執行ノ狀況ヲ監査ス
評議員ハ他ノ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第九十條 重要物産同業組合法施行規則第三條第二項、第四條乃至第六條、第八條乃至第十四條、第十六條乃至第二十一條、第二十二條第二項、第四項、第二十三條乃至第二十八條、第三十一條乃至第三十九條ノ規定ハ蠶絲同業組合中央會ニ之ヲ準用ス但シ此ノ規定中地方長官トアルハ之ヲ農商務大臣トス

第九十一條 蠶絲業法第三十五條第一項ノ規定ニ依リ物品ヲ收去セムトスルトキハ當該蠶種、生繭、桑苗又ハ蠶絲類ノ取扱ヲ爲ス者其ノ從業者、同居者、若ハ隣佑ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ納メ又ハ結束ヲ爲シ之ニ封緘ヲ施シ其ノ品名物品ヲ收去セラレタル者ノ氏名又ハ名稱、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏員及立會人之ニ署名捺印スヘシ、立會人

署名捺印セス又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第九十二條 地方長官當該官吏々員ヲシテ臨檢搜索尋問又ハ差押ヲ爲サシメムトスルトキハ其ノ身分ヲ證明スル爲様式第二十五條ノ證票ヲ携帯セシムヘシ

第九十三條 臨檢搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

第九十四條 府縣ノ原蠶種製造所又ハ第六十六條第一項ノ許可ヲ受ケタル學校講習所又ハ試驗場等ハ毎年三月三十一日迄ニ前年ノ成績表ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第九十五條 地方長官ハ毎年七月十五日迄ニ前年度ノ蠶業取締事務成績ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

第九十六條 地方長官蠶絲業法及本則ノ施行ニ關スル規定ヲ定メタルトキハ農商務大臣ニ報告スヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第九十七條 道府縣ハ蠶絲業法施行ニ關スル事務ヲ處理セシムル爲メ蠶業取締所ヲ設クヘシ

第九十八條 本則ニ依リ農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ蠶絲業同業組合中央會ヨリ差出スモノヲ除キ地方長官ヲ經由スヘシ

第九十九條 第六條第一項、第二項、第十八條、第二十條、第二十三條、第二十四條、第二十六條、第二十七條、第二十八條第一項、第二十九條、第三十條、第三十三條第一項、第三十七條第二項、第四十八條第一項、第五十七條第二項、第五十八條第三項、第六十二條第一項、第六十三條、第七十三條、第七十四條第一項、第七十五條又ハ第七十六條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金

又ハ科料ニ處ス

第三十二條、第六十一條、第七十七條、第七十八條第一項ノ規定ニ違反シタル者、第三十一條ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙ニ記載スヘキ事項ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者又ハ第七條第十七條若ハ第七十四條第二項ノ届出ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

第一百條 本則中府縣ノ原蠶製造所トアルハ北海道ニ在リテハ北海道農事試驗場ニ、郡市トアルハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

附 則

第一百一條 本則ハ大正六年法律第十六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一百二條 従前ノ規定ニ依リ下付セラレタル蠶種製造免許證及鑑札ハ本則施行後ト雖尙其ノ効力ヲ有ス

第一百三條 従前ノ規定ニ依リ學術研究ノ爲メ蠶種ノ製造、其ノ蠶兒ノ

飼育及其ノ製造蠶種ノ配付又ハ蠶絲業法第四條第一項ノ適用免除ニ付受ケタル許可ハ本則施行後ト雖尙其ノ効力ヲ有ス

従前ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ學術研究ノ爲製造シタル蠶種ノ配付ヲ爲ス學校、講習所又ハ試験場等ニシテ其ノ設置者道府縣、郡市又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ナルトキハ第六十六條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做シ本則ヲ適用シ其ノ他ノ團體ナルトキハ其ノ配付蠶種ニ付蠶絲業法第九條、第十一條第二項、第三項、第十三條、第二十七條第二項及本則中普通蠶種ニ關スル規定ヲ準用ス

第一百四條 道府縣ノ學校、講習所又ハ試験場等ニシテ従前ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケ學術研究ノ爲製造シタル蠶種ノ配付ヲ爲ス者ハ許可セラレタル配付數量ヲ原蠶種及普通蠶種ニ分チ大正七年四月末日迄ニ届出ツヘシ

第一百五條 蠶種ノ臺紙ニ記載スヘキ事項及之カ記載ノ方法ニ付テハ大正八年一月十五日迄従前ノ規定ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二十一條又ハ第三十一條ノ規定ニ依リ記載ヲ爲シタルモノト看做ス

第一百六條 第七十五條ノ規定ハ大正九年一月十五日迄之ヲ施行セス
第一百七條 蠶絲業法第四十八條ニ依リ地域ヲ指定スルコト左ノ如シ
釧路國、根室國、北見國禮文郡及千島

第一號樣式

第 號	蠶種製造免許證
住所	氏名(名稱)
蠶絲業法第五條ニ依リ蠶種製造者タルコトヲ免許ス	
年月日	
道府縣印	

紙 寸六縱 寸八橫

第二號

第 號	種繭證明證
住所	名氏(名稱)
一、記號	
二、化性化期品種名	
三、上簇月日	
四、繭色	
五、系統	
六、種繭ノ樹量	
右種繭タルコトヲ證ス	
年月日	
道府縣蠶業取締所印	

紙 寸四縱 寸六橫

第三號

平付臺紙裏面

記號番號	化性	越年不越年ノ別	品種名	系統	繭色	產卵月日(產卵蛾數)	蠶種製造場所	住所	氏名(名稱)
------	----	---------	-----	----	----	------------	--------	----	--------

寸三縱 寸六橫

容器表面

記號番號	化性	越年不越年ノ別	品種名	系統	繭色	產卵月日	蠶種製造場所	住所	氏名(名稱)
卵量									

第四號



圓形
直徑五分
肉色朱

第五號

第 五 號

種 號
種 號
住 所
氏 名 (名稱)

一、蠶種製造場所
二、記號
三、化學性
四、品名、系統
五、種樹量
六、一升ノ顆數
七、繭ノ色
右種繭ノ検査ニ合格シタルコトヲ證ス

年月日

道府縣蠶業取締所印

紙
縱四寸
横六寸

七十五

不越年付臺紙表

分五寸一
五寸

產卵月日

框製臺紙裏面

品 種 名	系 統	繭 色
-------------	--------	--------

框製臺紙表面

記號	番號	性	年	別	月	日	住所氏名(名稱)	蠶種製造場所
越年不越	產卵							

七十四

第十二號



外圓形 直徑一寸三分 肉色朱

第十號



外橢圓形 長一寸五分 外徑一寸 肉色朱

第十三號



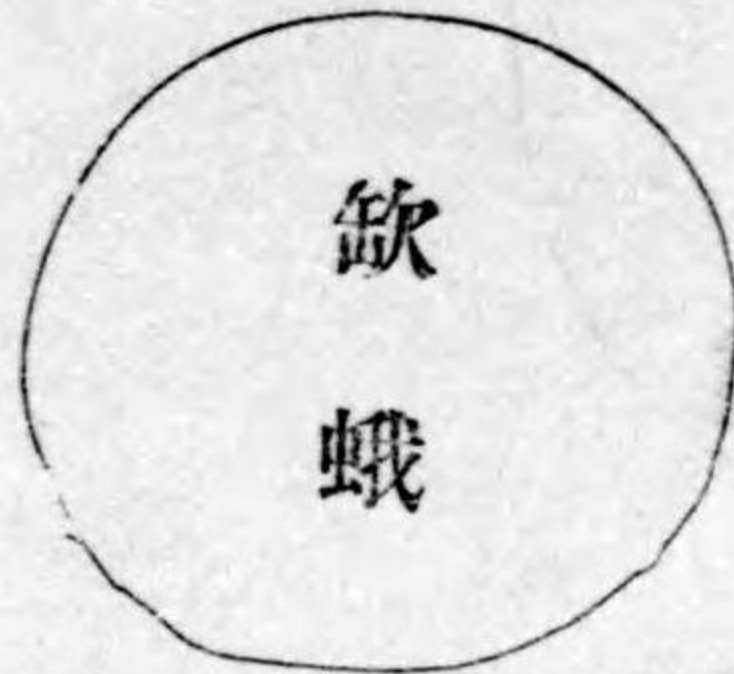
外橢圓形 長一寸三分 外徑一寸 肉色朱

第十一號



外橢圓形 長一寸五分 外徑一寸 肉色朱

第八號



圓形 直徑二分 肉色黑

第六號



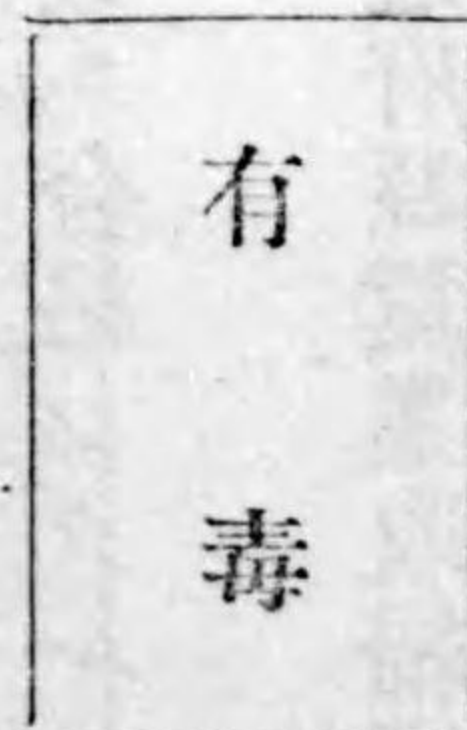
圓形 直徑六分 肉色朱

第九號



外圓形 直徑一寸五分 肉色朱

第七號



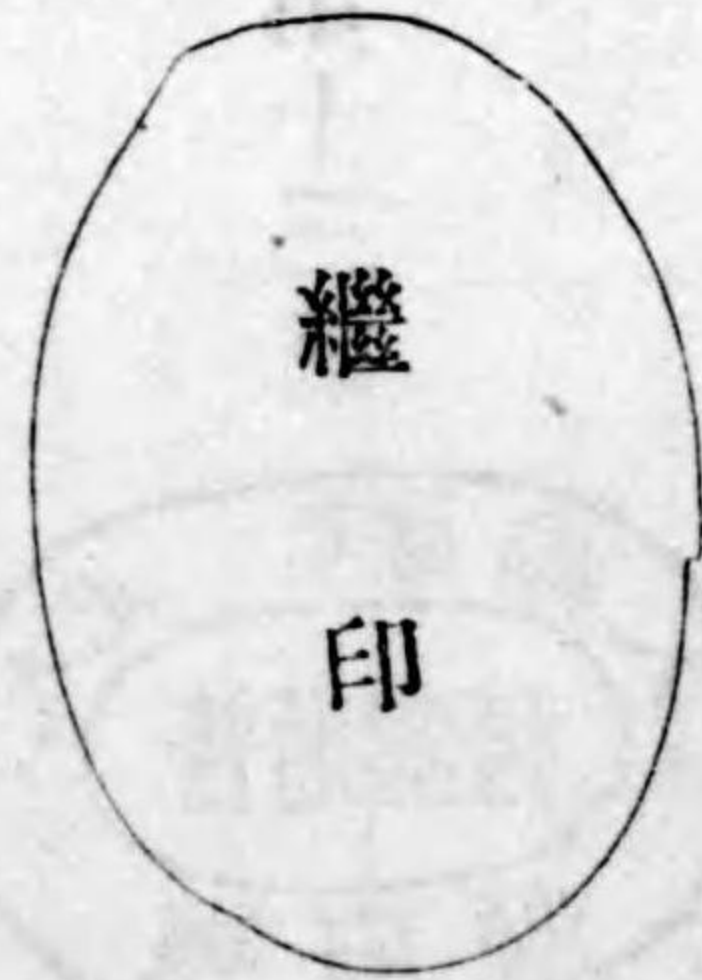
長三分 寬二分 肉色黑

第十四號



圓形
直徑六分
肉色青

第十五號



橢圓形
長徑三分
短徑二分
肉色朱

七十八

第十六號



長方形
縱八分
橫五分
肉色黑

第十七號



圓形
外徑一寸
直徑三分
肉色朱

第十八號



橢圓形
外徑一寸
長三分
外三分
短八分
肉色朱

第十九號



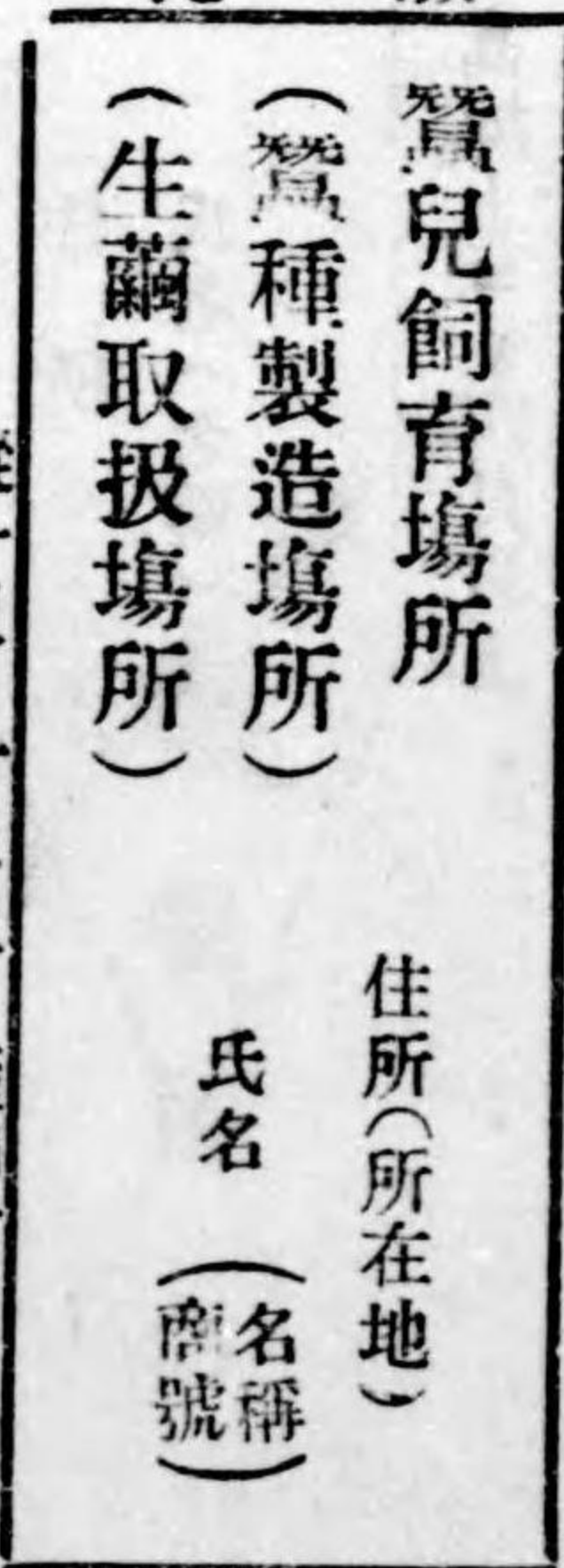
圓形
外徑一寸
直徑三分
肉色朱

第二十號



橢圓形
外徑一寸
長三分
外三分
短八分
肉色朱

第二十一號



木材 縱一尺五寸以上 橫四寸以上 厚四分以上

七十九

第二十二號

標本

品 種

反 別

住 所
氏名(名稱)

第二十三號

木 材

厚五分以上 幅四寸以上 高地上ヨリ四尺以上

表 面

道府 種行 商者(生商賣)之證
縣印

年 月 日

厚紙縱三寸 横二寸

裏 面

第 號 住 所
業 種 氏 名
生年月日

八十

第二十四號

表 面

道府 種行商者(生商賣)從業者之證
縣印

第二十五號

厚紙 縱三寸 横二寸

表 面

第 號
業取締官吏(吏員)證票
年 月 日
道府 縣印

裏 面

第 號 住 所(所在地)
業 種 氏 名(名稱)
右從業者氏名
生年月日

裏 面

官 職 氏 名

八十一

蠶絲業法施行手續 大正七年三月八日 縣令第十三號

第一條 蠶業取締所及其ノ支所ハ左ノ通り之ヲ常置ス

名 稱 置 位 管 轄 區 域

宮城縣蠶業取締所 宮城縣廳內

縣下一司、直屬所轄
黒川郡、宮城縣、仙臺市、名取郡ノ内秋保生出、西多賀、長町、六郷柴田郡川崎村ノ内本砂金

宮城縣蠶業取締所 白石支所 刈田郡白石町

刈田郡、柴田郡(川崎村ノ内本砂金ヲ除ク)

宮城縣蠶業取締所 角田支所 伊具郡角田町

伊具郡

宮城縣蠶業取締所 亶理支所 亶理郡亶理町

亶理郡(秋保、生出、西多賀、長町、六郷ヲ除ク)

宮城縣蠶業取締所 涌谷支所 遠田郡涌谷町

加美郡、志田郡、玉造郡、遠田郡、牡鹿郡桃生郡(桃生村ヲ除ク)本吉郡ノ内十三濱村

宮城縣蠶業取締所 登米郡登米町

登米郡(十三濱本吉郡ヲ除ク)桃生郡ノ内桃生村

宮城縣蠶業取締所 築館支所 栗原郡築館町

栗原郡

出張所ヲ設ケタルトキハ其ノ名稱位置管轄區域及其ノ開閉期日ハ之ヲ告示ス

第二條 蠶絲業法施行規則第二條ノ免許願書ハ其ノ年ノ一月三十一日迄ニ様式第一號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第三條 免許ヲ受ケタル蠶種製造者死亡シタルトキハ其ノ相續人又ハ戶主若ハ家族ヨリ、業務ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消サレタルトキハ本人ヨリ遲滯ナク免許證ヲ返納スヘシ

第四條 蠶種業法施行規則第五條ニ依ル届書ハ毎年三月十五日迄ニ様式第二號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第五條 蠶絲業法施行規則第六條ノ規定ニ依ル届書ハ生繭取扱場所ヲ豫定シタルモノニ在リテハ毎年五月末日迄ニ、之ヲ豫定セサル者ニ在リテハ生繭取扱開始前三日迄ニ様式第三號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ生繭取扱場所ノ一定シタルモノニシテ其ノ旨ヲ前項ノ届書ニ記載シタル時ハ之ヲ變更又ハ廢止シタル場合ヲ除ク外毎年之ヲ届出ツルコトヲ要セス

第六條 蠶絲業法施行規則第六條第十二條及第十三條ノ規定ハ毎年九月一日以後ニ之ヲ適用セス

第七條 蠶絲業法施行規則第八條ノ規定ニ依ル許可願書ニハ戶籍謄本ヲ添附シ之ヲ知事ニ差出スヘシ但シ死亡ニ依ラサル相續ノ場合ニ於テハ被相續人ノ連署ヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ之ト同時ニ免許證ノ書換ヲ請求スヘシ

第八條 蠶絲業法施行規則第十五條ノ規定ニ依ル蠶室及蠶具ノ消毒ハ蠶兒ノ飼育又ハ蠶種製造ノ都度之ヲ行フヘシ

養蠶者ノ使用シタル蠶室又ハ蠶具ヲ使用セントスル場合ハ於テハ其ノ使用前ニ之カ消毒ヲ行フヘシ

第九條 蠶絲業法施行規則第十七條ノ原蠶種製造用蠶兒検査請求書ハ様式第四號ニ依リ、普通蠶種製造用蠶兒掃立届ハ様式第五號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第十條 蠶絲業法施行規則第十九條第一項但書ノ規定ニ依リ掃立口ヲ合併シ又ハ分割セムトスルトキハ其掃立口及合併又ハ分割スヘキ部分ヲ蠶種製造者ニ通知ス

第十一條 蠶絲業法施行規則第二十一條第一項ノ記號ハ平假名ヲ用キ同規則第三十四條第二項ノ符號ハ數字ヲ用キ容器ニ納メタル袋製蠶種ニ

ハ各袋ニ一容器毎ニ起算シタル番號ヲ附スヘシ

第十二條 框製蠶種ノ臺紙ノ表面ニハ蠶絲業法施行規則ノ規定ニ依リ記載スヘキ文字ノ外他ノ文字又ハ圖形等ヲ記載シ又ハ着色スルコトヲ得ス

第十三條 蠶絲業法施行規則第三十七條第一項ノ規定ニ依リ記載スヘキ品種名ハ雌蛾ヲ先ニ雄蛾ヲ後ニ記載スヘシ

第十四條 蠶絲業法施行規則第二十二條ノ原蠶種製造用繭検査請求書ハ様式第六號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第十五條 蠶絲業法施行規則第二十四條ノ普通蠶種製造用收繭届ハ様式第七號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第十六條 蠶絲業法施行規則第二十六條第一項ノ規定ニ依ル普通蠶種製造用蠶兒讓渡届ハ様式第八號ニ依リ之ヲ蠶業取締所ニ差出スヘシ

同則第二十九條第一項ノ規定ニ依ル届書ハ前項ニ準スヘシ

第十七條 蠶種製造者蠶絲業法施行規則第三十三條第一項但書ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ蠶種ヲ蠶業取締所ニ差出シ書面又ハ口頭ヲ以テ之カ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ相當證明ヲ必要トスルトキハ其ノ證憑物件ヲ提示スルコトヲ要ス

第十八條 蠶絲業法施行規則第三十二條但書又ハ第三十六條但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケムトスル者ハ交雜又ハ變更セントスルモノニ付左記ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ其ノ蠶兒ノ掃立前知事ニ差出スヘシ

- 一、化性品種名
- 二、品種ノ沿革
- 三、蟲性繭質ニ關スル調書

四、交雜又ハ變更ヲ必要トスル理由

五、製造豫定額

第十九條 蠶絲業法施行規則第二十八條第一項ノ規定ニ依リ種繭検査合格證又ハ種繭證明書ノ裏書若ハ下附ヲ請求セントスル時ハ様式第九號ニ依リ其ノ請求書ヲ蠶業取締所ニ差出スヘシ

第二十條 蠶絲業法施行規則第三十五條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル時ハ様式第十號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第二十一條 蠶絲業法施行規則第四十五條ノ原蠶種母蛾検査請求書ハ様式第十一號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

前項ノ請求書ニハ種繭検査合格證及交雜ニ依ル原蠶種ヲ製造シタル場合ニハ様式第十二號ノ普通蠶種製造調書第二表ニ準シタル調書ヲ添付スヘシ

第二十二條 蠶絲業法施行規則第四十六條ノ普通蠶種歩合検査請求書ニハ蠶種製造調書及種繭證明書アルモノハ之ヲ添付シ様式第十二號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第二十三條 蠶絲業法施行規則第四十七條ノ輸入又ハ移入蠶種ノ検査請求書ハ様式第十三號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第二十四條 蠶絲業法施行規則第四十八條第二項ノ規定ニ依リ検査ヲ拒ミタル蠶種ニ付テハ其ノ記號番號蠶種製造地品種名及數量ヲ蠶種製造者ニ通知ス

第二十五條 原蠶種ニシテ百分ノ五以上ノ微粒子ヲ發見シタルモノハ蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五十六條ノ規定ニ依リ之ヲ普通蠶種ト爲ス但シ其ノ一部ヲ原蠶種トシテ合格セシムルコトアルヘシ
前項普通蠶種ト爲スヘキ蠶種ニ付テハ其ノ記號番號及數量ヲ蠶種製造

者ニ通知ス

第二十六條 蠶絲業法施行規則第五十二條第二項ノ規定ニ依ル普通蠶種再検査請求書ハ不合格ノ通知ヲ受ケタル後十日以内ニ様式第十四號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

普通蠶種歩合検査請求書中ニ其旨ヲ記載シ豫メ前項ノ請求ヲ爲サムトスル時ハ様式第二號中別ニ欄ヲ設ケテ之ヲ明ニスヘシ

第二十七條 蠶絲業法施行規則第五十三條ノ規定ニ依リ検査請求變更ノ許可ヲ受ケントスル者ハ様式第十五號ニ依リ其ノ願書ヲ知事ニ差出スヘシ

第二十八條 蠶絲業法施行規則第五十九條第一項ノ規定ニ依リ検査證印又ハ封緘印ノ押捺ヲ請求セントスルトキハ様式第十六號ニ依リ其ノ請求書ヲ蠶業取締所ニ差出スヘシ

第二十九條 蠶種製造者ハ毎年十月末日迄ニ前年ニ於テ製造シタル原蠶種ノ消費ニ付様式第十七號ニ依リ届書ヲ知事ニ差出スヘシ

第三十條 蠶絲業法施行規則第七十四條ノ規定ニ依ル桑苗生産届書ハ毎年五月十五日迄ニ様式第十八號ニ依リ之ヲ知事ニ差出スヘシ

第三十一條 蠶絲業法施行規則第七十八條第二項ノ規定ニ依リ鑑札ノ下附ヲ出願セントスル者ハ様式第十九號ニ依リ鑑札下附願ヲ知事ニ差出スヘシ

蠶絲業法施行規則第七十八條ノ規定ニ依リ鑑札ヲ有スル者死亡シタル時ハ其ノ相續人又ハ戸主若ハ家族ヨリ業務ヲ廢止シタルトキハ本人ヨリ、從業者ノ鑑札不用ニ歸シタルトキハ其ノ雇主ヨリ其ノ鑑札ヲ取締所ニ返納スヘシ

第三十二條 免許證、種繭検査合格證、種繭證明書又ハ鑑札ヲ毀損シ若

ハ亡失シタルトキハ其下附ヲ請求スルコトヲ得但シ毀損シタルモノハ之ヲ返納スヘシ

第三十三條 蠶種製造場所又ハ蠶兒飼育場所ニ於テ受クヘキ検査ニハ蠶種製造者其ノ管理者又ハ適當ナル代理人之ニ立會スヘシ

第三十四條 第三條若ハ第三十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者又ハ第十八條ノ願書ニ虚偽ノ事項ヲ記載シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十五條 本令ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ蠶業取締所ヲ經由スヘシ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年十二月二十九日縣令第三十四號蠶絲業法施行手續ハ本令

施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第二條ノ免許願書差出期日ハ本年ニ限り三月十五日迄トス
様式第一號

蠶種製造免許願

蠶種製造場所	(郡市町村字番地)	(郡市町村字番地)
右管理者	(何 某)	(何 某)(住 所)
蠶兒飼育場所	(郡市町村番地)	(郡市町村番地)
右擔當者	(何 某)	
蠶室ノ棟數	(何 某)	

蠶室ノ室數	(何室)						
蠶室ノ平面積	(何方尺)						
掃立蟻量概定							
蠶種製造額概定數	(原蠶種何蛾)						
	(普通蠶種何枚)						

右免許相成度此段相願候也

年月日

知事宛

住所

氏

名(名稱) 印

備考

- 一 蠶種製造者又ハ管理者ノ履歷書蠶絲業法施行規則第三條第一項第三號ニ關スル證明書及法人ニ在リテハ定款ヲ添附スヘシ
- 二 原蠶種製造用蠶兒飼育室ト普通蠶種製造用蠶兒飼育室トヲ區別シタル蠶室ノ平面圖ヲ添附スヘシ

様式第二號

蠶種製造届

一 原蠶種ト爲スヘキ蠶種

免許證第 號

蠶種製造場所

蠶兒飼育場所	化性化期	越年不越年	品種名	系統	掃立豫定月日	掃立豫定蟻量	掃立豫定蟻量	製造豫定額	框製一袋製

右及届出候也

年月日

住所

業種氏

名(名稱) (印)

知事宛

様式第四號

原蠶種製造用蠶兒檢査請求書

		蠶兒飼育場所	性化	期化	年不越	年不越	別越年	品種名	系統	原蠶種製造者住所氏名	掃立蛾ハ	掃立蛾ハ	掃立蛾ハ	掃立蛾ハ	飼育記號	番號

右及請求候也

年月日

氏 名(名稱) (印)

知事宛

備考

- 一記號ノ異ナルモノ毎ニ一行ニ記載スヘシ以下倣之
- 二飼育法別ハ一蛾別飼育混合飼育ニ區別シ記載スヘシ

様式第五號

普通蠶種製造用蠶兒掃立届

蠶兒飼育場所	性化	期化	年不越	年不越	別越年	品種名	系統	原蠶種製造者住所氏名	掃立蛾ハ	掃立蛾ハ	掃立蛾ハ	掃立蛾ハ	飼育記號	番號

樣式第八號

知事宛

右及届出候也
年 月 日

住 所
氏

名(名稱) 印

			養兒飼 育場所	性化	期化	年不越 別越年	名品 種	氏製原 名造蠶種	月掃 日立	月 日	上 簇	記 號	系 統	種 量	種 薩 ト 爲

百二

普通蠶種製造用蠶兒讓渡届

右及届出候也
年 月 日

住 所
讓渡人 氏

名(名稱) 印

			養兒飼 育場所	性化	期化	年不越 別越年	名品 種	氏製原 名造蠶種	月掃 日立	月 日	上 簇	記 號	系 統	種 量	種 薩 ト 爲

百三

知事宛

様式第十一號

越年(不越年)原蠶種母蛾検査請求書

蠶種製造場所	性化期記號	番號	品種名	產卵月日	製造額	
					框製	袋製
					枚數	個數
					枚數	個數
					枚數	個數
					枚數	個數
					枚數	個數
					枚數	個數
					枚數	個數
					枚數	個數
					枚數	個數

右種繭検査合格證相添へ此段及請求候也

年月日

住所

氏名(名稱) 印

知事宛

様式第十二號

越年(不越年)普通蠶種歩合検査請求書

蠶種製造場所	性化期記號	番號	品種名	產卵月日	製造額	
					框製	平付
					枚數	枚數
					枚數	枚數
					枚數	枚數
					枚數	枚數
					枚數	枚數
					枚數	枚數
					枚數	枚數
					枚數	枚數
					枚數	枚數

右別紙蠶種製造調書(及種繭證明書)相添へ此段及請求候也

年月日

住所

氏

名(名稱) ㊦

知事宛

備考

一許可ヲ得テ袋製又ハ散卵トナシタルモノアルトキハ別ニ欄ヲ設ケ
其ノ製造額ヲ記載スヘシ

二蠶絲業法施行規則第五十二條第三項ニ依リ普通蠶種再検査ノ請求
ヲ爲サムトスルトキニハ相當欄ヲ設ケ其ノ旨ヲ附記スヘシ

普通蠶種製造調書

第一表 純粹種又ハ固定種

系統大別	化性	化期	記號	系統	品種名	製造額
						付

計

第二表 交雜種 其一

系統大別	一代交雜	化性	化期	記號	系統	品種名	原蠶種製造者
							氏名
其ノ他							

計

第二表 交雜種 其二

計	其ノ他	一代交雜	系統大別		雄		雌		製造額	
			化性化期記號	系統品種名	原蠶種製造者氏名	原蠶種製造者氏名	框製	平付		

備考

一袋製又ハ散卵ト爲シタルモノアルトキハ別ニ欄ヲ設ケ其ノ製造額

ヲ記載スヘシ

二本調書ハ請求書本分ニ記載シタル數字ノ細別ヲ記載スヘキモノナレハ其ノ合計ハ一致スヘキモノナリ

様式第十三號

輸入(移入)蠶種検査請求書

製造地	化性	品種名	蠶製ノ數量	母蛾ノ數量	純粹種固定種又ハ交雜種ノ區別	指定要求額	
						原蠶種	普通蠶種

右及請求候也

年月日

住所

氏

名(名稱) 印

知事宛

備考

蠶種ノ數量ハ框製ニ在リテハ蛾數平付ニ在リテハ枚數袋製ニ在リテハ袋數散卵ニ在リテハ容器ノ個數ヲ記載シ其ノ側ニ卵量ヲ附記スヘシ

様式第十四號

越年(不越年)普通蠶種再検査請求書

蠶種製造場所

化性

化期

記號

番號

品種名

再検査請求額

框製

平付

枚數

枚數

枚數

枚數

右及請求候也

年月日

住所

氏

名(名稱) 印

知事宛

様式第十五號

越年(不越年)蠶種検査請求變更願

蠶種製造場所	化性化期記號	番號	品種名	產月日	普通蠶種検査請求額	
					框製	袋製(散卵)
					枚數	個數
					枚數(卵星)	個數(卵星)

右原蠶種ト爲スタメ検査請求致置候處(何々ノ事由)ニ因リ普通蠶種トシテ検査相受ケ度候條此段相願候也

年月日

住所

氏名(名稱)印

知事宛

備考

蠶種製造前ナルトキハ括弧ヲ附シタル欄記載ヲ要セス

様式第十六號

検査證印(封緘印)押捺請求書

化性記號番號	品種名	蠶種別	請求數量
			容器ノ個數
			卵量
			費分

右蠶種ノ臺紙(事由調書)(物件)相添此段及請求候也

年月日

住所

氏名(名稱)印

蠶業取締所宛

備考

蠶種別ハ請求前ニ於ケル袋製框製平付散卵ノ區別ニ依リ更ニ蠶種又ハ普通蠶種ノ文字ヲ肩書トスヘシ

様式第十七號

原蠶種消費届

化性記號	産卵月日	越年不越年ノ別	製造額		消費額	
			框製	袋製	原蠶種	普通種其他
			框製	袋製	框製	袋製

右證據書類(掃殼)相添へ此段及届出候也

年月日

住所

氏名(名稱)印

知事宛

様式第十八號

桑苗生産届

生産場所	生産種名	仕立方	定額	桑方圃ノ面積

右及届出候也

年月日

住所

氏

名(名稱) 印

知事宛

様式第十九號

鑑札下付願

鑑札種別

鑑札携帶者氏名

生年月日

本人、家族若ハ
人等ノ別

右相願候也

年月日

住所

氏

名(名稱) 印

知事宛

蠶絲業法施行心得

農商務省告示第十五號

蠶絲業法施行心得

第一條 蠶絲業法施行規則第九條ニ依リ蠶蛆又ハ其ノ蛹若ハ蠅ヲ壓殺、熱殺又ハ水殺スル方法左ノ如シ

一 壓殺ハ形體ヲ破壞スルニ至ルヲ以テ度トス

二 熱殺ハ熱湯中ニ浸漬スルカ、華氏二百十二度以上ノ蒸氣ニ接觸セシムルカ、華氏百六十度以上ノ乾熱ニ十分間以上接觸セシムルカ又ハ燒棄スヘシ

三 水殺ハ水液中ニ蠶蛆ハ七十時間以上其ノ蛹ハ百二十時間以上浸漬スヘシ

第二條 蠶絲業法施行規則第十條ニ依リ蠶兒、蠶蛹、蠶蛾又ハ其ノ屍體又死籠繭又ハ薄皮繭ヲ處理スル方法左ノ如シ

一 「フオルマリソ」ヲ用キル場合ニ在リテハ百分中一分以上ノ蟻酸「アルデヒード」ヲ含有シ華氏七十五度以上ノ溫度ヲ保テル液ニ投入シ六十時間以上之ヲ放置スヘシ

二 石灰水ヲ用キル場合ニ在リテハ百分中十分ノ生石灰ヲ含有スル液ニ投入シ百十五時間以上之ヲ放置スヘシ

三 熱湯ヲ用キル場合ニ在リテハ其ノ中ニ一時間以上浸漬シ若ハ五時間以上煮沸スヘシ

四 乾燥ヲ行フ場合ニ在リテハ華氏百六十度以上ノ火熱又ハ蒸氣熱ヲ用キ生繭重量百ニ對シ四十以内ニ至ラシムヘシ

第三條 蠶絲業法施行規則第十一條ノ蠶病蔓延ノ虞アル場合トハ病勢猖獗ニシテ蠶兒ノ過半病蠶トナリタル場合ヲ謂フ

第四條 蠶絲業法施行規則第十二條第四項ニ依リ塵芥ヲ處理スル方法ハ

之ヲ燒棄シ又ハ水液中ニ百二十時間以上浸漬スヘシ

第五條 蠶絲業法施行規則第十五條ニ依リ蠶室蠶具ヲ消毒スル方法左ノ

如シ

一 「フォルマリン」撒布消毒法

蠶室ヲ消每スハニハ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲其ノ周圍ヲ密閉シ噴霧器ニテ天井、四圍、床板ノ順序ニ依リ撒布シ華氏七十五度以上ノ溫度ナルトキハ室ノ内面百平方尺ニ對シ百分中一分以上ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル「フォルマリン」四百二十粒即チ二合三勺一才ノ量ヲ用キ撒布後十五時間以上室ヲ密閉シ置クヘシ但シ充分ニ密閉シ難キ室、撒布面ノ粗雜ナル室又ハ溫度ヲ華氏七十五度以上ニ保タシメ難キ室ニ在リテハ「フォルマリン」撒布ノ量ヲ適宜増加スヘシ
蠶具ヲ消毒スルニハ華氏七十五度以上ノ室内ニ於テ之ヲ行ヒ百分中

一分以度ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル「フォルマリン」ヲ蠶網、蠶筵及蠶箔ノ類ニ在リテハ一枚毎ニ蠶架ノ類ニ在リテハ一箇毎ニ表裏全面ノ潤フ程度ニ撒布シ順次之ヲ堆積シ瓦斯ノ漏洩ヲ防ク爲菰蔴等ヲ以テ其ノ周圍ヲ覆ヒ十五時間以上之ヲ放置スヘシ

二 蒸氣消毒法

桶箱等ニ蠶具ヲ容レ之ニ蒸氣ヲ通シ華氏二百十二度ニ達シタル後尙三十分間以上同溫度ヲ保タシムヘシ但シ百分中一分ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル「フォルマリン」ヲ蠶具ニ撒布シタルトキハ廿分間以上千分中五分ノ「アルデヒド」ヲ含有スル「フォルマリン」ヲ撒布シタルキハ三十分間以上華氏百四十度以上ノ溫度ヲ保タシムヘシ

三 蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒法

消毒ニ用ウヘキ室ヲ密閉シ溫度ヲ華氏七十五度以上溫度ヲ七十五

「パーセント」以上ト爲シ皆川蕙ハ四枚、原蕙ハ二枚、蠶網ハ十枚ヲ限度トシテ重積シ室ノ立方積一千立方尺ニ對シ八百枚以下ノ蠶箔及皆川蕙ヲ納メタルトキハ二百二十瓦以上ノ瓦斯ヲ發散セシメ後六時間以上室ヲ密閉シ置クヘシ

四 昇汞水消毒法

蠶室ヲ消毒スルニハ千分中五分ノ昇汞及十分ノ鹽酸ヲ含有スル液ヲ雜巾ノ類ニ含マシメ蠶室ノ天井、四圍及床板ヲ擦拭シ又ハ如露ノ類ヲ以テ撒布シ全面ノ充分潤フヲ程度トナシ三十分間以上之ヲ放置スヘシ

蠶具ヲ消毒スルニハ蠶網、蠶蕙及蠶箔ノ類ニ在リテハ千分中二分ノ昇汞及十分ノ鹽酸ヲ含有スル液ニ之ヲ浸漬シ内部ニ滲透セシメ後三十分間以上濕潤ノ状態ニアラシメ、蠶架ノ如キ浸漬シ難キモノニ在

リテハ蠶室ノ昇汞水消毒ニ準シ之ヲ行フヘシ

五 格魯兒石灰水消毒法

百分中五分ノ格魯兒石灰ヲ加ヘタル水ヲ數時間放置シタル後其ノ清澄液ヲ用キ昇汞水消毒ノ方法ニ準シ蠶室内ヲ消毒スヘシ但シ格魯兒石灰ハ有効鹽素百分中二十五分以上ヲ含有スルモノヲ使用スヘシ

第六條 平附普通蠶種ヲ製造スル場合ニ於テハ蠶種一枚毎ノ母蛾ヲ正確ニ區別スル爲各臺紙ヲ框ニ納メ又ハ椽木ノ類ヲ以テ隔離シ産卵セシムヘシ

第七條 蠶絲業法施行規則ニ依ル繭色ハ黃、金黃、綠、白、筐及紅ノ六色ノ區別ニ依リ、蠶種ニ記載スヘキ繭色ハ其ノ蠶種ヨリ生産スヘキ繭ニ依ル

第八條 蠶絲業法施行規則ニ依ル系統ハ左ノ例ニ依ルヘシ

純粹種ニ在リテハ日本種、支那種、歐羅巴種

固定種ニシテ其ノ系統ノ明カナルモノニ在リテハ日支固定種、日歐固定種、支歐固定種、日支歐固定種等、明カナラサルモノニ在リテハ日本種系固定種、支那種系固定種、歐羅巴種系固定種

交雜種ニ在リテハ日支交雜種、支支交雜種、歐歐交雜種、日支交雜種、日歐交雜種、支歐交雜種、日支交雜種

高架索其ノ他東歐又ハ中亞ノ系統ニ屬スルモノハ之ヲ歐羅巴種ニ、印度其ノ他東亞ノ系統ニ屬スルモノハ之ヲ支那種ニ、朝鮮ノモノハ日本種ニ屬セシムヘシ

第九條 蠶絲業法施行規則ニ依ル品種名ハ日本種ニシテ從來慣用ノ文字アルモノハ之ニ依リ、新ニ用ウヘキモノハ漢字又ハ平假名ニ依リ、移入若ハ輸入シタル蠶種ニハ譯語ヲ用キ漢字ニ依リ其ノ譯シ難キモノハ

原語ヲ用キ片假名ニ依リ之ヲ記載スヘシ但シ國ノ學校、試驗場、府縣ノ原蠶種製造所及蠶絲業法施行規則第六十六條第一項ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所又ハ試驗場等ハ此ノ限ニ在ラス

第十條 蠶絲業法施行規則第七十六條ノ規定ニ依ル發育不良ノ桑苗トハ實生苗ニ在リテハ幹長八寸、其ノ他ノ苗ニ在リテハ幹長二尺ニ達セス又ハ著シク根張不良ナルモノヲ謂ヒ、讓渡スルコトヲ得サル桑苗トハ紫紋羽病菌、白紋羽病菌根朽病菌又ハ桑介殼蟲ノ附着セルモノヲ謂フ

蠶絲業法施行事務取扱規程 農商務訓省令第二十一號

第一條 蠶種取締所ニハ蠶種製造者臺帳、生繭取扱者臺帳、原蠶種検査臺帳、普通蠶種歩合検査臺帳、普通蠶種再検査臺帳、移入及輸入蠶種検査臺帳、鑑札下附臺帳及桑苗取締臺帳ヲ備ヘ置クヘシ

第二條 當該官吏吏員臨檢又ハ検査ヲ爲シタルトキハ蠶業取締所ヨリ交付セラレタル手簿ニ其ノ要領ヲ記入シ上司ノ檢閲ヲ受クヘシ

第三條 蠶絲業法施行規則第二十八條第二項ニ依ル通知書ニハ其ノ以前ニ於ケル臨檢又ハ検査ノ成績其ノ他ノ經過ヲ記載スヘシ
同一蠶種製造者ノ蠶兒又ハ種繭カ他ノ蠶業取締所管轄内ニ移動シタルトキハ其ノ以前ニ於ケル臨檢又ハ検査ノ成績其ノ他ノ經過ヲ通知スヘシ

第四條 掃立蛾數及其ノ蟻量ヲ知ルコトハ検査ノ施行及成績ノ調査上必要アルニ依リ散卵ヲ掃立テタルモノニシテ其ノ蛾數ヲ知り難キモノ又ハ一蛾別飼育ヲ爲シタルモノニシテ其ノ蟻量ヲ知り難キモノ等ハ稚蠶期ノ検査ヲ行フ場合ニ之カ精密ナル推定ヲ爲シ之ヲ手簿及臺帳ニ記載スヘシ

第五條 普通蠶種製造用種繭ニ對シ種繭證明書ノ下附ヲ請求シタル者アルトキハ其ノ請求書記載事項ト掃立届書及收繭届書トヲ對照シ適當ト認メタルモノニ付之カ下附ノ手續ヲ爲スヘシ但シ必要ト認メタルトキハ蠶繭ヲ保存スル場所ニ臨檢シ其ノ種繭及之ニ對スル掃殻ヲ調査シタル後其ノ手續ヲ爲スヘシ
前項但書ノ規定ニ依リ臨檢シタルトキ又ハ普通蠶種ノ製造場所ニ臨檢シ普通蠶種ノ製造ニ供用シタル原蠶種ノ掃殻ニ付調査ヲ爲シタルトキハ蠶絲業法施行規則様式第六號ノ原蠶種掃殻證印ヲ押捺スヘシ

第六條 蠶絲業法施行規則第二十八條第一項ノ規定ニ依ル種繭検査合格證又ハ種繭證明書ノ裏書ヲ爲スニハ讓渡ヲ爲シタル蠶繭ノ數量、月日讓受人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シ蠶業取締所ノ印ヲ押捺シ、其ノ下附ヲ爲スニハ之ト同一ノ事項ヲ裏書シタル同一種繭検査合格證又ハ種繭證明書ヲ作成スヘシ

第七條 交雜ニ依リ製造シタル蠶種ハ其ノ母蛾ヲ出シタル掃立口ノ所屬トス

第八條 蠶絲業法施行規則第四十二條ノ規定ニ依ル検査ハ左ノ各號ニ依ルヘシ

- 一 稚蠶期ノ検査ハ一齡乃至三齡ノ間ニ於テ、壯蠶期ノ検査ハ四齡及五齡ノ間ニ於テ之ヲ行フヘシ
- 二 病蠶ノ數ハ検査ノ爲現場ニ臨ミタル時ニ於ケル蛾區又ハ掃立口ノ

蠶兒ノ總數ニ付計算スヘシ

三 微粒子ノ顯微鏡検査ハ微粒子病ノ疑アル蠶兒五頭以上ニ付之ヲ行フヘシ

四 蛾區ヲ基礎トシ掃立口ヲ正確ニ區分シテ飼育セル場合ニ於テハ各區分毎ニ微粒子ノ検査ヲ行ヒ蠶絲業法施行規則第四十二條第二項ノ規定ニ依リ其ノ區分毎ニ合否ノ決定ヲ爲スコトヲ得

五 繭ノ平均一顆ノ繭層量量定ノ方法ハ一蛾別ニ検査ヲ行フモノニ在リテハ一蛾區毎ニ全顆數ノ十分ノ一ニ相當スル普通繭ノ繭層量ヲ量リ之ヲ平均シテ一顆ノ繭層量ヲ求メ、掃立口別ニ検査ヲ行フモノニ在リテハ掃立蟻量一匁ニ付五十顆ノ割合ヲ以テ普通繭ノ繭層量ヲ量リ之ヲ平均シテ一顆ノ繭層量ヲ求ムヘシ

六 固定種ニシテ其ノ系統ノ明カナラサルモノノ所屬ハ其ノ繭型ニ依

リ日本種支那種又ハ歐羅巴種ノ系統中ノ一ニ之ヲ定ムヘシ

第九條 一蛾別検査ノ成績ハ掃立口ノ記號及各蛾區ノ番號ニ依リ整理シ
蠶絲業法施行規則第四十二條第一項第二號ノ規定ニ依ル全蛾區ノ對照
ニ供スヘシ

全蛾區ノ對照ハ病蠶及微粒子ノ検査ニ合格シタルモノノ全部ニ付之ヲ
行フヘシ

第十條 病蠶及微粒子ノ検査全蛾區ノ對照検査及原蠶種ノ掃立口別ノ檢
査ニ不合格トナリタルモノハ之ヲ當業者ニ告知シ適宜ノ處理ヲ爲サシ
ムヘシ

第十一條 原蠶種ノ母蛾又ハ蛾卵ノ顯微鏡検査ハ二枚ノ標本ヲ二人ノ當
該官吏員ニテ檢視シ之ヲ無毒ト決定セムトスルトキハ每鏡面ニ付各
五視野以上ヲ檢視スヘシ

第十二條 原蠶種ト爲スヘキ移入又ハ輸入蠶種ニシテ一母蛾毎ニ卵ト對
照スルコト能ハサルモノノ母蛾ノ検査ハ一母蛾毎ニ一鏡面ヲ檢スヘシ
但シ己ムヲ得サル場合ニ於テハ數蛾又ハ數十蛾毎ニ一鏡面ヲ檢スルコ
トヲ得

第十三條 普通蠶種又ハ移入若ハ輸入蠶種ノ歩合検査ニ用キル母蛾ヲ採
收セムトスルトキハ微粒子發見ノ機會ヲ平等ナラシムル爲一容器毎ニ
同數ノ蛾ヲ採收スヘシ但シ己ムヲ得サル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 平附普通蠶種ノ再検査ニ供用スヘキ母蛾ハ一容器毎ニ母蛾ノ
全部若ハ一部ヲ採リ之ヲ十等分シ其ノ一分毎ニ一鏡面ヲ檢スヘシ

第十五條 蠶絲業法施行規則第四十條第二項ノ規定ニ依リ卵ヲ以テ普通
蠶種ノ再検査ヲ行ハムトスルトキハ百粒以上ヲ採リ之ヲ十等分シ其ノ
一分毎ニ一鏡面ヲ檢スヘシ

第十六條 蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五十六條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サムトスルトキハ有毒印又ハ缺蛾印ヲ押捺シタル區又ハ袋アルモノハ之ヲ除去シ未タ原蠶種検査合格證印又ハ原蠶種印ヲ押捺セサル前ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第十七條 蠶絲業法施行規則第五十五條第三項ニ依リ原蠶種印ヲ押捺スヘキ蠶種ハ交雜種タラサルコトヲ要ス但シ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ交雜種タルコトヲ示スヘキ文字ヲ記載セルモノト雖固定種ト認定シ得ヘキモノハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 蠶業取締所ニ於ケル蠶種又ハ母蛾ノ貯藏、處理、取扱ノ場所及顯微鏡使用ニ供スル場所ハ消毒ヲ行ヒ検査用具ヲ洗滌シタル汚水ハ之ヲ消毒シ且濫リニ他ニ放流スヘカラス

蠶業取締所規程

農商務省令第三十一號
明治十四年十月十六日

第一條 地方長官蠶業取締所ヲ設置セントスルトキハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 蠶業取締所又ハ其ノ支所ハ道府縣内須要ノ地ニ之ヲ設ク但シ必要アル時期ニ限リ其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得

第三條 蠶業取締所、支所及出張所ノ管轄區域及開閉月日ハ地方長官之ヲ定ム

所長ハ技師又ハ技手ヲ以テ之ニ充ツ但シ農業技師ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ妨ケス

所長ハ地方長官ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌理シ主事ハ所長ノ指揮ヲ承ケ事務ヲ分掌ス

第四條 地方長官ハ蠶業取締所處務規程ヲ定ムヘシ

第五條 地方長官ハ蠶業取締所支所、又ハ出張所ノ位置、管轄區域、開閉月日、所長又ハ主事ノ命免ヲ公示スヘシ

附 則

本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

蠶業取締所處務規程

告示第八百四十號
明治四十四年十月二十九日

第一條 蠶業取締所ニ所長、支所ニ主事及ヒ左ノ職員ヲ置ク

蠶業取締吏員

蠶種検査吏員

書記

前項職員ノ外須要ニ應シ助手ヲ置キ蠶種検査ノ事務ヲ補助セシムルコ

トアルヘシ

第二條 所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ但時宜ニ依リ技手又ハ農業技師ヲ以テ之ニ充ツルコトアルヘシ

第三條 所長ハ知事ノ命ヲ承ケ蠶業ノ取締並ニ之ニ關スル一切ノ事務ヲ管理シ所屬ノ吏員ヲ指揮監督ス

第四條 削除

第五條 主事ハ蠶業取締吏員ヲ以テ之ニ充ツ

第六條 出張所ヲ置キタル場合ニ於テハ其ノ主席吏員ヲ以テ主任トス

第七條 主事及主任ハ上司ノ指揮ヲ受ケ各其管内ニ於ケル蠶業ノ取締並ニ之ニ關スル一切ノ事務ヲ處理シ所屬ノ吏員ヲ指揮ス

主事及主任ハ所屬ノ吏員ニ對シ管内ノ出張ヲ命スルコトヲ得

第八條 蠶業取締吏員蠶種検査吏員及ヒ書記ハ縣吏員トス

第九條 蠶業取締吏員蠶種検査吏員及ヒ書記ハ本所ニアリテハ所長、支所ニアリテハ主事 出張所ニアリテハ主任ノ指揮ヲ受ケ、蠶業取締吏員ハ蠶業ノ取締、蠶種検査吏員ハ蠶種ノ母蛾及卵ノ顯微鏡検査書記ハ庶務及會計ニ従事ス

第十條 所長、主事、主任事故アルトキハ各其所ノ次席吏員其職務ヲ代理ス

附 則

本規程ハ明治四十五年一月一日ヨリ施行ス

蠶業取締所處務細則

大正七年五月一日
訓令甲第 號

第一條 蠶業取締所ニ於テ收受スル文書ハ親展書ハ親展封書受附簿ニ登録シ其他ハ書記ニ於テ封開シ文書收發簿ニ登録シテ之ヲ所長ニ差出スヘシ 所長ハ前項ノ文書ヲ閱シ處理方法ヲ指示シ所員ヲシテ立案セシムヘシ 支所及ヒ出張所ニ於テモ前二項ノ例ニ準ス

第二條 蠶業取締所並ニ支所及ヒ出張所ニハ左ノ簿書ヲ備フ可シ

蠶業取締所	同	支	所	同	出	張	所
出	勤	簿	同	上	同	上	上
日	誌	同	上	同	上	同	上

職員名簿	同	上	同	上	上	上
文書收發簿	同	上	同	上	上	上
親展封書受附簿	同	上	同	上	上	上
備品臺帳	同	上	同	上	上	上
消耗品受拂簿	同	上	同	上	上	上
郵便切手受拂簿	同	上	同	上	上	上
郵便切手仕拂明細簿	同	上	同	上	上	上
蠶種製造者臺帳	同	上				

原蠶種檢查臺帳	同	上	
普通蠶種步合檢查臺帳	同	上	
普通蠶種再檢查臺帳	同	上	
移入及輸入蠶種檢查臺帳	同	上	
生繭取扱者臺帳	同	上	
鑑札下附臺帳	同	上	
桑苗業者取締臺帳	同	上	
原蠶種印取消簿	同	上	

出 張 命 令 簿	並 發 着	往 復	願 届	報 告
同	同	同	同	同
上	上	上	上	上
同	同	同	同	同
上	上	上	上	上

以上ノ外必要ナルモノ

第三條 主事主任ハ蠶業取締所處務規程第七條第二項ニ依リ所屬吏員ニ出張ヲ命シタルトキハ直ニ様式第一號ニ依リ知事ニ報告スヘシ

第四條 蠶業取締所員ノ勤務日數ハ様式第二號ニ依リ所長若クハ主事又ハ主任ヨリ知事ニ報告スヘシ

第五條 左ノ臨檢ヲ了シタルトキハ十日以内ニ主事ヨリ知事ニ報告スヘシ

蠶 蛆 驅 除 様式第三號 蠶蛆驅除報告

蠶 兒 檢 査 様式第四號 稚蠶檢査成績報告
壯蠶檢査成績報告

繭 檢 査 様式第五號 繭檢査成績報告

第六條 左ノ出願アリタルトキハ主事ニ於テ之ヲ調査シ意見ヲ附シ直ニ知事ニ進達スヘシ

蠶絲業法施行手續第二條ニ依ル免許願
同第七條ニ依ル業務承繼許可願

同第十八條ニ依ル交雜又ハ變更ニ關スル許可願
第七條 左ノ出願アリタルトキハ主事ニ於テ之カ處分ヲ爲シ其都度願書

ヲ添ヘ知事ニ報告スヘシ但シ許可ヲ與フルモノハ所名ヲ以テスヘシ
蠶絲業法施行手續第二十條ニ依ル普通蠶種袋製(散卵)製造許可願

同第二十七條ニ依ル蠶種検査請求變更許可願

同第三十一條第一項ニ依ル鑑札下附願

第八條 左ノ事項ハ主事ヨリ直ニ知事ニ進達スヘシ

蠶絲業法施行手續第三條又ハ第三十一條第二項ニ依リ返納シタル免許證又ハ鑑札

同第三十二條但書ニ依リ返納シタル免許證

種繭検査合格證、種繭證明書又ハ鑑札

第九條 左ノ届出アリタルトキハ主事ニ於テ之カ處分ヲ爲シ下記期日迄ニ取纏メ郡市別集計ノ上知事ニ報告スヘシ

蠶絲業法施行手續第四條ニ依ル蠶種製造届 四月十五日

同第五條ニ依ル生繭取扱届 九月三十日

同第九條ニ依ル蠶兒検査請求書及掃立届 十月三十一日

同第十四條ニ依ル繭検査請求書及同第十五條ニ依ル收繭届

同第二十九號ニ依ル原蠶種消費届 十一月三十日

同第三十條ニ依ル桑苗生産届 十一月三十日

同第十條 左ノ事項ハ主事ニ於テ之カ處分ヲ爲シ其都度之ヲ知事ニ報告スヘシ

蠶絲業法施行規則第十九條但書ニ依ル掃立口ノ合併又ハ分割ヲ必要ト認メタルトキ

同第四十條第二項ニ依ル検査ヲ必要ト認メタルトキ

同第四十八條ノ規定ニ違反シタルモノアルトキ

第十一條 主事又ハ主任ハ蠶絲業法施行手續第二十五條ニ依リ普通蠶種トナシタル者アル時ハ様式第六號ニ依リ其月末毎ニ之ヲ知事ニ報告シ

同條但書ニ依リ合格セシムヘキ者アルキハ直ニ之ヲ知事ニ具申スヘシ

第十二條 左ノ事項ハ主事ニ於テ之カ處分ヲ爲スヘシ

蠶絲業法施行手續第十六條ニ依ル蠶兒讓渡届及ヒ同條第二項ニ依ル廢止届

同第十七條ニ依ル文字ノ訂正増加又ハ抹消ニ關スル事項

同第十九條ニ依ル検査合格證又ハ種繭證明證ノ裏書若ハ下附請求

同第二十八條ニ依ル検査證印又ハ封緘印ノ押捺請求同第二十一條第一項ニ依ル原蠶種母蛾検査請求

同第二十二條ニ依ル普通蠶種歩合検査請求

同第二十三條ニ依ル移入又ハ輸入蠶種ノ検査請求

同第二十六條ニ依ル普通蠶種再検査請求

第十三條 主事ハ蠶絲業法施行規則第五十九條第四項ニ該當スルモノアルトキハ直ニ之ヲ知事ニ具申スヘシ

第十四條 蠶絲業法施行規則第四十九條ニ依ル原蠶種母蛾検査同第五十

一條ニ依ル普通蠶種歩合検査

同第五十四條ニ依ル普通蠶種再検査同第五十五條ニ依ル移入又ハ輸入蠶種ノ検査成績ハ各其ノ關係成績簿ニ記入シ日計通計口計ヲ付シ主事

又ハ主任之ニ捺印スヘシ

主事又ハ主任前項各成績ヲ各關係臺帳ニ登録シ其合否ヲ決定シ且其週毎ニ様式第七號第八號第九號第十號ニ依リ全部完了シタルトキハ翌年

一月末日迄ニ様式第十一號ニ依リ之ヲ報告スヘシ

同第六十二條ニ依リ原蠶種合格證印又ハ原蠶種印ヲ取消シタル蠶種ニ關シテハ毎年末様式第十二號ニ依リ之ヲ知事ニ報告スヘシ

第十五條 出張所ヨリ差出スヘキ書類ハ支所ヲ支所ヨリ差出スヘキ書類

ハ蠶業取締所ヲ經由スヘシ

蠶業取締所ヲ經由スヘキ書類ハ所長ニ於テ調査ノ上處分案ヲ起シ知事

ノ決裁ヲ經ヘシ蠶業取締事務ニ關シ知事ノ處分ヲ要スルモノ亦同シ

前項ノ決裁ヲ經テ施行シタル書類ハ所長ニ於テ一切之ヲ整理スヘシ

第十六條 主事又ハ主任タル吏員出張ヲ命セラレタルトキハ歸所五日以

内ニ主事タル吏員ハ所長主任タル吏員ハ主事ニ復命書ヲ差出スヘシ

第十七條 蠶業取締吏員 取締事務ニ關シ臨檢スル時ハ所定ノ手簿ヲ携

帶シ之ニ各要項ヲ記載シ歸所ノ都度主事又ハ主任ニ差出シ檢閲ヲ受ク

ヘシ

主任ハ一臨檢事項終了ノ都度手簿ヲ取纏メテ主事ニ差出スヘシ

主事ハ前項ノ手簿ヲ調査シ必要ノ事項ハ直ニ臺帳ニ登錄スヘシ

第十八條 支所及ヒ出張所開所中ハ當直員ヲ定メ當直セスムヘシ當直規

定ハ別ニ之ヲ定ム

第十九條 支所及出張所ニ於ケル書類ハ分類一括シ每年末ニ於テ出張所

ハ支所ニ支所ハ(出張所ノ分トモ)取締所ニ引繼クヘシ閉所シタル場合

亦同シ取締所ハ一切ノ書類ヲ本所、支所、出張所ニ區別シテ保管シ滿

一年ヲ經過シタルトキハ之ヲ知事官房文書係ニ取繼クヘシ

附 則

第二十條 本細則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年二月二十日訓令甲第五號蠶業取締所處務細則ハ本細則施

行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

様式

第一號

出張報告

命令月日	出張地名	出張豫定日數	要務	職名	氏名
		自月日 至月日 日間			

右及報告候也

年月日

知事宛

何々支所主事(何々出張所主事)印

第二號

何月分勤務日數報告

(主任ハ翌日三日迄 主事ハ同五日迄 所長ハ同九日迄)

勤務	内勤	外勤	病氣	休暇	賜暇	忌引	計	備	考	官	職	氏	名

(備考) 日給ヲ受クル者ノ欲勤シタル時ハ其月日ヲ備考欄ニ記入ス

右及報告候也

年月日

知事宛

所長(主事主任) 何 某 印

第三號

(備考) 一蛾別ノ検査ニアリテハ各蛾區ヲ各一件トシ掃立口別ノ検査ニアリテハ其口毎ヲ各一件トシ検査件數中不合格實件數ハ不合格タル原因二以上ニ涉ルモ之ヲ一件トスヘシ以下做之

蠶兒ノ賣買主ナル病蠶、養蠶者並ニ學術研究者ノ蠶况、其他ノ要項
右及報告候也

年月日

何々支所主事

知事宛

第四號ノ二

壯蠶検査成績報告 (同前)

郡市	蠶種	同上	検査	合格	不合格	検査件數	計	上簇豫測
町村	製造者數	個所	月日	合格	病蠶微粒 子脚色 体型 實件數			測月日

(備考) 同前

右及報告候也

年月日

何々支所主事

知事宛

第五號

繭検査成績報告 (同前)

計								
---	--	--	--	--	--	--	--	--

收スヘシ

附 則

本令ハ大正六年法律第十六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十四年勅令第二百十四號ハ之ヲ廢止ス

蠶種検査手数料徴收規則

大正七年一月二十九日縣令第五號

大正六年十二月十一日勅令第二百二十七號第一條第二號ニ依ル蠶種検査
手数料左ノ通り之ヲ定ム

框製又ハ袋製一枚又ハ一容器ニ付	金五錢
平付又ハ散卵一枚又ハ一容器ニ付	金四錢

關 係 法 規

重要物産同業組合法

明治三十三年三月法律第三十五號
大正五年三月六日法律第一五號改正

第一條 重要物産ノ生産製造又ハ販賣ニ關スル營業ヲ爲ス者ハ同業者又ハ密接ノ關係ヲ有スル營業者相集リテ本法ニ依リ同業組合ヲ設置スル事ヲ得

重要物産及密接ノ關係ヲ有スル營業ノ種類ハ農商務大臣ノ認定ニ依ル
第二條 同業組合ハ組合員協同一致シテ營業上ノ弊害ヲ矯正シ其利益ヲ増進スルヲ以テ目的ト爲ス

第三條 同業組合ヲ設置セムトスルトキハ豫メ地區ヲ定メ其地區内ノ同業者三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受ク可シ但シ二種以上ノ營業者相集リ組合ヲ設置セムトスルトキハ各種營業毎ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

第四條 同業組合設置ノ地區内ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ其組合ニ加入スヘシ但シ營業上特別ノ情況ニ依リ農商務大臣ニ於テ加入ノ必要ナシト認ムル者ハ此限ニ在ラス

第五條 同業組合ハ組合相互ノ氣脈ヲ通シ其目的ヲ達スル爲同業組合聯合會ヲ設置スルコトヲ得

同業組合聯合會ヲ設置セムトスルトキハ其ノ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 同業組合及同業組合聯合會ハ法人トセス

同業組合及同業組合聯合會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第七條 同業組合及同業組合聯合會ノ定款ノ變更ハ各其ノ定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 同業組合及同業組合聯合會ハ左ノ役員ヲ置クヘシ

一組長 一名

一副組長 若干名

一評議員 若干名

前項ノ役員ノ外定款ノ規定ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

役員ハ同業組合ニ於テハ組合員中ヨリ同業組合聯合會ニ於テハ聯合會ヲ組織スル同業組合ノ組合員中ヨリ之ヲ選舉シ農商務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

但必要アルトキハ組合員ニ非ラサル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

第九條 組長ハ其ノ同業組合又ハ同業組合聯合會ヲ統轄シ其事務ヲ擔任ス

副組長ハ組長ノ事務ヲ補佐シ組長故障アルトキ之ヲ代理ス

評議員ハ組長ノ諮詢ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監査スルモノトス

副組長及評議員ハ定款ノ規定ニ依リ組合ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

組長副組長共ニ故障アルトキハ評議員之ヲ代理ス

第十條 同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ検査規定ヲ設ケ組合員ノ營業品ヲ検査スルコトヲ得

同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ違約者ニ關スル規定ヲ設ケ違約者ニ對シ過怠金ヲ徴シ違約物品ヲ沒收スルコトヲ得

第十條ノ二、前條第一項ノ検査ヲ行フ同業組合及同業組合聯合會ニ在リテハ検査員ヲ置クヘシ

検査員ノ選任及解任ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ク可シ

第十條ノ三、同業組合及同業組合聯合會ハ前條ノ検査員ノ服務ニ關スル規程ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條ノ四、農商務大臣ハ重要輸出品ニ關スル同業組合又ハ同業組合聯合會ノ申請アルトキ又ハ必要ト認ムルトキハ其役員又ハ検査員ノ選任又ハ解任ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規程ニ依リ選任セラレタル役員ノ解任ハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

重要輸出品ノ種類ハ農商務大臣之ヲ指定ス

第十一條 同業組合及同業組合聯合會ノ經費ノ豫算並ニ徵收法ハ各其ノ定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
經費ノ決算及業務成績ハ每年少クトモ一回組合員ニ公示シ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十二條 同業組合及同業組合聯合會ハ其ノ事務ニ關シ行政廳ニ建議スルコトヲ得又其ノ諮問アルトキハ答申スヘシ

第十三條 農商務大臣ハ同業組合又ハ同業組合聯合會ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ業務ノ執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査シ經費ノ豫算又ハ其徵收法ノ變更ヲ命シ其他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十四條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合及同業組合聯合會ヲ設ケシムルコトヲ得

農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合ノ地區ノ範圍、營業ノ種類若クハ定款ノ變更ヲ命シ又ハ同業組合聯合會ヘノ加入若シクハ同業組合聯合會ヨリ脱退ヲ命スルコトヲ得

第十五條 同業組合若クハ同業組合聯合會ノ決議又ハ其ノ役員ノ行爲ニシテ法律命令ニ違背シ又ハ公益ヲ害シ又ハ其ノ目的ニ違背シ又ハ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキハ農商務大臣ハ左ノ處分ヲ爲ス

コトヲ得

一、同業組合若クハ同業組合聯合會ノ解散ハ其ノ業務ノ停止

二、役員ノ解職

三、決議ノ取消

第十六條 同業組合若クハ同業組合聯合會解散ヲ爲サントスルトキハ組合員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ其事由ヲ具シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 地方長官ハ其ノ管内ニ於ケル同業組合及同業組合聯合會ヲ監督シ必要アルトキハ意見ヲ具シ農商務大臣ノ處分ヲ請フヘシ

第十八條 農商務大臣ハ同業組合及同業組合聯合會ニ關シ其ノ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十九條 第四條ノ規定ニ違背シタルモノハ五百圓以上五百圓以下ノ過料

ニ處ス

第十九條ノ二、同業組合及同業組合聯合會ノ役員第十三條又ハ第十四條ノ規程ニ依ル命令ニ違背シタルトキハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第十九條ノ三、同業組合及同業組合聯合會ノ役員検査員其他事務ニ従事スル者正當ノ理由ナクシテ當該官吏又ハ吏員ノ本法ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ之ヲ妨ケ若クハ之ヲ忌避シタルトキ又ハ職務ノ執行ノ爲ニスル尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若クハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第十九條ノ四、非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規程ハ前三條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第二十條 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ證票若クハ検査證ヲ不正ニ使

用シタル者行使ノ目的ヲ以テ證票若クハ検査證ヲ偽造若クハ變造シタル者又ハ偽造若クハ變造ノ證票若クハ検査證ヲ使用シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ參百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條ノ二、同業組合又ハ同業組合聯合會ノ役員又ハ検査員其職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若クハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其價格ヲ追徴ス

第二十條ノ三、前條第一項ニ掲クル者ニ對シ賄賂ヲ交付提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ參百圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十條ノ四、第二十條ニ掲クル罪ハ刑法第三條ノ例ニ第二十條ノ二ニ掲クル罪ハ刑法第四條ノ例ニ從フ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前選任セラレタル検査員ニ付テハ本法施行後一ヶ月以内ニ其選任ノ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ期間内ニ認可ノ申請ヲ爲ササルトキハ其期間滿了ノ日申請ニ對シ不認可ノ指令アリタルトキハ其指令ノ日ニ於テ検査員ハ解任セラレタルモノト看做ス

検査員ハ前項解任ノ日迄從前ノ例ニ依リ職務ヲ行フコトヲ得前三項ノ規定ハ本法ニ依リタル他ノ法律ニ依リ設置シタル組合又ハ聯合會ニ關シ之ヲ準用ス

勅令第一二三號 大正五年五月四日

大正五年法律第十五號ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

重要物産同業組合法施行規則

(大正五年五月二十九日
農商務省令第八號)

第一條 同業組合ノ名稱中ニハ同業組合ナル文字ヲ用フヘシ

同業組合ニ非ルモノハ其名稱中ニ同業組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ス

第二條 組合ノ地區ハ一郡市以上一府縣以下ノ區域ニヨリ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事情アル場合ハ此限リニ非ス

第三條 組合ヲ設置セントスル時ハ五名以上ノ營業者發起人トナリ組合地區ヲ管轄スル地方長官ニ發起ノ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

- 一、組合員タルヘキモノノ營業ノ種類
 - 二、組合ノ地區
 - 三、組合ノ目的及業務ノ概目
 - 四、組合設置ノ事由
 - 五、組合員タルヘキ者ノ數但シ組合員タルヘキ者ノ營業ノ種類二種以上ナルトキハ其ノ營業ノ種類毎ニ之ヲ區別スヘシ
 - 六、組合ノ創立費及收支ノ概算
- 第四條 發起ノ認可アリタル時ハ發起人ハ組合員タルヘキ者ニ前條第二項ニ掲クル事項ヲ通知シ組合設置ノ同意ヲ求ムヘシ
- 第五條 法定ノ同意者アリタル時ハ發起人ハ定款ヲ作り遲滞ナク創立總會ヲ招集スヘシ創立總會ヲ招集スルニハ少トモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項時日及場所ヲ組合員タルヘキ者ニ通知シ且ツ之ヲ公告スヘシ

前項ノ通知ニハ定款ヲ添付スヘシ

第六條 定款ハ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非レハ之ヲ議定スルヲ得ス

組合員タルヘキ者ノ營業ノ種類二種以上ナル時ハ前項ノ同意ハ種類殊ニ三分ノ二以上ナルコトヲ要ス

第七條 創立總會ニ於テハ役員ヲ選舉ス最初ノ事業年度ノ經費ノ豫算及徵收法ヲ議決スヘシ

第八條 組合ノ負擔ニ歸スヘキ創立費及其償却方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ヘシ

第九條 第十九條第一項、第二十條第二項第三項及第二十七條ノ規定ハ創立總會ニ付キ之ヲ準用ス

第十條 創立總會終結シタル時ハ發起人ハ法定ノ同意者アリタルコトヲ

證スル書類、定款、創立總會ノ決議録ノ謄本ヲ添付シ組合設置ノ認可ヲ農商務大臣ニ申請スヘシ

前項ノ認可アリタル時ハ地方長官ハ遲滞ナク其ノ旨告示スヘシ

第十一條 發起人ハ發起ノ認可アリタル後一年内ニ組合設置ノ認可ヲ申請セサルトキハ發起ノ認可ハ其効力ヲ失フ

第十二條 農商務大臣組合ノ設置ヲ命シタルトキハ地方長官ハ創立委員ヲ選定シ其氏名及ヒ住所ヲ公告スヘシ創立委員ハ定款ヲ作り農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
組合ノ設置アリタルトキハ創立委員ハ遲滞ナク組合員ノ總會ヲ招集スヘシ

第五條第二項、第七條、第八條、第十九條第一項、第二十條及第二十二條第二項第三項ノ規定ハ前項總會ニ之ヲ準用ス

第十三條 組合定款ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

(一)目的(二)業務(三)名稱(四)地區及組合員ノ營業ノ種類(五)主タル事務所及従タル事務所ノ所在地(六)組合員ノ加入及脫退ニ關スル規定(七)組合員ノ權利義務ニ關スル規定(八)役員ノ定數權限及任免ニ關スル規定(九)業務ノ執行ニ關スル規定(十)會議ニ關スル規定(十一)會計ニ關スル規定

仲裁判斷又ハ調停ヲ爲シ組合ニアリテハ之レニ關スル規定ヲ定款ニ記載スヘシ

聯合會ヲ組織スル組合ノ定款ニハ代表員ノ選舉ニ關スル規定ヲ記載スヘシ

第十四條 定款ニ主タル事務所ノ位置ヲ記載セサル組合ニ在リテハ之レヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ其之レヲ變更シタルトキ亦同シ

第十五條 組合ニ組合會ヲ置ク

組合會ハ組合員中ヨリ選舉シタル代議員ヲ以テ之ヲ組織ス

代議員ノ定數任期及選舉ニ關スル規定ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第十六條 組合ノ業務ハ組合會ノ決議ニ依リ組長之レヲ行フ但シ定款ニ別段ノ定メアルトキハ此限ニ非ス

第十七條 組長ハ定款ノ定ムルトコロニ依リ每事業年度少クトモ一回一定ノ時期ニ於テ組合會ヲ招集スヘシ組長必要ト認ムルトキハ組合會ヲ臨時ニ招集スルコトヲ得

代議員定數ノ五分ノ一以上ガ會議ノ目的タル事項及其招集ノ理由ヲ示シ組合會ノ招集ヲ請求シタル時ハ組長ハ之レヲ招集スヘシ評議員會ガ第二十四條第二號ノ規定ニ依リ報告ヲ爲スタメ組合會ノ招集ヲ請求シタルト亦キ同シ

前項ノ場合ニ於テ組長一週間内ニ組合會招集ノ手續ヲナササル時ハ請求者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ之レヲ招集スル事ヲ得

第十八條 組合會ヲ招集スルニハ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項日時及場所ヲ示シテ定款ノ定ムル方法ニ依リ其通知ヲ發スヘシ前項ノ期間ハ定款ノ規定ヲ以テ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第十九條 組合會ニ於テハ代議員定數ノ半數以上出席スルニ非レハ會議ヲ開クコトヲ得ス同一事項ニ付招集シタル第二回以後ノ組合會ニ於テ代議員定數ノ三分ノ一以上出席スルトキハ會議ヲ開クコトヲ得

第二十條 組合會ノ議決ハ出席シタル代議員ノ過半數ヲ以テ之レヲ爲スヘシ

第二十一條 定款ノ變更ハ組合會ニ於テ代議員定數ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之レヲ議決スヘシ